

# 平成 30 年度 松本市小中学校 環境教育支援事業 報告書



明善小学校「竹筒と蜜蠟を使ったキャンドルづくり」

本郷小学校「緑のカーテン設置指導」



美しく生きる。  
健康寿命延伸都市・松本



# 松本市小中学校環境教育支援事業について

## 1 本事業について

学校内における環境教育の推進を図るため、環境分野の専門性を持つ地域の企業・団体等が外部講師となる「環境学習プログラム」を小中学校へ紹介しています。

平成22年度から、民間（環境教育講師団体）、松本市教育委員会、松本市の3者による協働事業として実施しています。

## 2 経過

- (1) 平成30年4月6日 松本市小中学校校長会へ案件提出
- (2) 平成30年4月13日 松本市小中学校教頭会へ内容説明  
各校にプログラム一覧の提示と希望調査
- (3) 平成30年5月10日までに16校から実施希望、申込あり
- (4) 平成30年5月以降、随時事業実施

## 3 実施状況（平成31年1月現在）

- (1) 実施校 17校（小学校15校 中学校2校）
- (2) 実施人数 1,447名（小学生1,369名 中学生78名）
- (3) 実施事業 31事業（12種類）
- (4) 実施団体 13団体

## 4 報告書構成





- |                             |        |
|-----------------------------|--------|
| (1) 松本市小中学校環境教育支援事業 報告書     | 1～38頁  |
| (2) 松本市小中学校環境教育支援事業 講師コメント  | 39頁    |
| (3) 松本市小中学校環境教育支援事業 学習プログラム | 41～65頁 |
| (4) 信州の環境学習サポートサイト 紹介       | 66頁    |
| (5) 【附録】松本市環境政策課からのお知らせ     | 67～68頁 |

# 平成30年度 小中学校環境教育支援事業 報告書一覧



番号	学校名	講座番号、講座名	講師	実施学年、クラス	人数	実施日	頁番号
1	会田中	12 木の授業とバームクーヘン作り	寿さと山くらぶ	2年1組	20	10月26日	1
2	会田中	6 ツキノワグマの生態を知ろう	NPO法人 信州ツキノワグマ研究会	1年1組	23	1月21日	2
3	安曇小	3 梓川リバーアドベンチャー	合同会社リトルピークス	5、6年	9	8月29日	3～4
4	今井小	13 緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会 ㈱奥原造園	1、2年 各1学級	49	5月23日	5
5	鎌田小	13 緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会 ㈱奥原造園	4年1組	36	5月24日	6
6	鎌田中	13 緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会 ㈱奥原造園	造園委員会	35	5月31日	7
7	源池小	12 木材の活用法	寿さと山くらぶ	5年1組 2組	56	10月4日	8～9
8	四賀小	12 木の授業とバームクーヘン作り	寿さと山くらぶ	3年	19	9月27日	10
9	四賀小	9 竹筒と蜜燭を使ったキャンドルづくり	松本市地球温暖化防止市民 ネットワーク(エコネットまつもと)	特別支援学 級	7	11月28日	11
10	芝沢小	16 体感&体感! 自然体験学習	信州やがいたいけん楽校ぶらす	4年	92	11月7日	12～13
11	島内小	13 緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会 ㈱奥原造園	1、2年	275	5月15日	14
12	菅野小	12 木の授業とバームクーヘン作り	寿さと山くらぶ	特別支援学 級	26	10月1日	15
13	菅野小	5 生きもの探しと観察及び環境教育講座	いきものみつけファームin松本 推進協議会	3年	95	7月6日	16～17
14	菅野小	13 緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会 ㈱奥原造園	1年	100	5月25日	18～19
15	田川小	7 水辺の観察会	川の自然と文化研究所(NPO)	3年1組 2組	48	8月28日	20～21
16	田川小	20 生きもの観察	松本ホテル学会	2年1組 2組	42	8月28日	22～23
17	田川小	13 緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会 ㈱奥原造園	1年1組 2組	57	6月1日	24～25
18	中山小	13 緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会 ㈱奥原造園	4年	16	5月12日	26
19	並柳小	2 自然と触れ合い感性を育てる活動 簡単な工作で道具が使えるようになる活動	NPO 法人わおん	2年1組 2組	61	7月13日	27

番号	学校名	講座番号、講座名	講師	実施学年、クラス	人数	実施日	頁番号
20	二子小	4 めかくどご飯炊き体験	NPO 安曇野ふるさとづくり応援団	3年1組 2組	37	11月12日	28～29
21	二子小	12 木の授業とバームクーヘン作り	寿さと山くらぶ	4年1組 2組	53	11月6日	30～31
22	二子小	12 木の授業とバームクーヘン作り	寿さと山くらぶ	特別支援学級	10	11月13日	32～33
23	二子小	13 緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会 榎奥原造園	1年1組 2組	45	5月30日	34
24	本郷小	13 緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会 榎奥原造園	1、2年 各2学級	104	5月31日	35
25	明善小	9 竹筒と蜜蝋を使ったキャンドルづくり	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク(エコネットまつもと)	5年2組	27	5月28日	36
26	波田小	15 体感プログラムを中心とした自然体験学習1	体験創庫かけはし	特別支援学級	12	9月14日	37～38
27	波田小	15 体感プログラムを中心とした自然体験学習2	体験創庫かけはし	特別支援学級	12	10月16日	37～38
28	波田小	15 体感プログラムを中心とした自然体験学習3	体験創庫かけはし	特別支援学級	12	11月5日	37～38
29	波田小	15 体感プログラムを中心とした自然体験学習4	体験創庫かけはし	特別支援学級	12	12月21日	37～38
30	波田小	15 体感プログラムを中心とした自然体験学習5	体験創庫かけはし	特別支援学級	12	2月18日	37～38
31	今井小	14 身近な自然観察	自然観察の会 ひこばえ	1、2年	45	10月17日	
<b>計</b>	<b>17校</b> (小学校15校 中学校2校)	<b>12種類</b>	<b>13団体</b>	<b>1,447人</b> (小学校1,369人、中学校78人)			





<p>授 業 名</p>	<p>木の授業とバームクーヘン作り</p>	
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立会田中学校</p>	
<p>実施学年、学級、参加人数</p>	<p>2年1組 20名</p>	
<p>担当者</p>	<p>竹内 大</p>	
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成30年10月26日（金）</p>	
<p>講師名</p>	<p>寿さと山クラブ 鈴木 喜一郎 さん</p>	
<p>実施概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木の年輪のでき方</li> <li>・年輪を模したバームクーヘン作り</li> </ul>	
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>① 年輪のでき方について説明を受けました。季節や気候、方角によって、年輪の形成が異なることを学びました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>② 地元産の卵を使い、生地を作りました。竹の棒に生地を巻き付け、バームクーヘンが完成しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
<p>記 入 者</p>	<p>竹内 大</p>	
<p>授業について</p>	<p><b>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木の年輪は、一年に一回り大きくなり、冬と夏で色が違うことが分かりました。</li> <li>・年輪を見ると、その年の天候について分かり、おもしろいと思った。</li> <li>・地域の卵を使いバームクーヘン作りができてよかった。</li> <li>・自然の利用方法について考えさせられた。枯れた松の活用など、自然と上手に付き合いたい。</li> </ul> <p><b>2 先生方の感想、要望等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普段できないような貴重な経験だった。学校の裏側には、松枯れの多い学友林があるので、自然について考えるいい機会となった。</li> </ul>	

授 業 名	ツキノワグマの生態を知ろう	
実施学校名	松本市立会田中学校	
実施学年、学級、参加人数	1 学年 2 3 名	
担当者	石田 将晶・松島 千尋・田中 栄治	
実施日（期間）	平成31年1月21日（月）	
講師名	信州ツキノワグマ研究会 浜口 あかり先生	
実施概要	ツキノワグマの生態、野生動物と人間の共生、出会ったときの対応 実際の熊の毛皮、ふんなどを使って熊の特徴を体感することができた。	
実施状況 (授業風景)	 <p>・パワーポイントを使用して、熊の生息場所や食物などについてお話をお聞きました。</p> <p>・実際に毛皮に触れたりふんの臭いを感じたりして熊への理解を深めました。</p>	
	記 入 者	石田 将晶
授業について	<p><b>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お話から、熊のことを理解し熊にとって良い環境を保全できるように考えられていることを理解したようです。</li> <li>・最後に熊について、興味深く質問していました。</li> </ul> <p><b>2 先生方の感想、要望等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に毛皮やふんを持参し体験的に話を聞かせていただき印象深く生徒が感じられた。</li> <li>・熊に出会った際の対処法もお話いただきありがたかった。</li> </ul> <p><b>3 その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時期はずれの授業でしたが、多くの行事がある時期より、生徒は集中して授業を受けられました。</li> </ul>	

<p>授 業 名</p>	<p>梓川リバーアドベンチャー</p>	
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立安曇小学校</p>	
<p>実施学年、学級、参加人数</p>	<p>5 学年 4 名、6 学年 5 名、計 9 名</p>	
<p>担当者</p>	<p>5 学年担任：横山 享司、6 学年担任：小林 僚</p>	
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成30年8月29日（水）</p>	
<p>講師名</p>	<p>合同会社リトルピークス（代表・小峰邦良さん）</p>	
<p>実施概要</p>	<p>①講義「大河の一滴」（パワーポイントを用いて、内容は梓川65kmの旅）を教室で聴き、川の働きや水の流れについて学習した。                  ②梓川支流の黒川にて、シャワークライミングや岩登り、滝つぼ潜り等をして川遊びを楽しんだ。                  ③梓川まで出た後、川でおぼれた時の対応や川におぼれた人への救助法等を体験学習した。                  ④水深がかなり深くなる所を列になって歩き、島々谷川の遡上体験を行って帰校した。</p>	
<p>実施状況 (授業風景)</p>		<p>講義を聴いた後、ウエットスーツやライフジャケットを身につけて、学校から歩いて5分の黒川に向かいました。最初に川歩きを体験しました。</p>
	<p>川への安全な入り方や安全な遊び方を教えていただきました。暑い時期だったので、川の水がとても冷たく、全身で水とふれ合い、全身で水につかっている子もいました。岩登りも体験しました。</p>	
	<p>きれいな川に生息する「カワゲラ」を捜索中。石の下などを必死に探しましたが、残念ながら見つからず。その代わりに、巨大なカエルと遭遇。自然豊かな安曇の魅力を再発見できました。</p>	
	<p>黒川だけではなく、梓川・島々谷川の3つの川を体験し、水の冷たさのちがい、流れの速さについても実際に体験しながら理解を深めることができました。</p>	

	記 入 者	小林 僚
授業について	<p><b>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水流の間をくぐってみると、水の勢いが強くて、周りが白く見えました。全部楽しかったです。</li> <li>・最初、私は川に興味あまりなかったけれど、川について知りたいことが出てきて、興味が湧いてきました。</li> <li>・水に流される練習をしましたが、本当に流される感覚が怖く感じました。川は楽しいけれど、怖さがあるんだなと思いました。</li> </ul> <p><b>2 先生方の感想、要望等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校のすぐ近くの梓川や黒川、島々谷川ですが、子どもたちも川遊びを体験したことがなく、まして、危険だからと避けていたように思います。安全に遊べば、これだけ楽しい活動なのだと体験できたことが一番の財産だったように思います。この活動があったからこそ、その後に行われた「梓川3ダム見学」も有意義な活動につながりました。</li> </ul>	



授 業 名	緑のカーテン設置指導	
実施学校名	松本市立今井小学校	
実施学年、学級、参加人数	1 学年 2 学年 各 1 学級 (49名)	
担当者	野村 ひとみ	
実施日 (期間)	平成30年5月23日(水)	
講師名	松本市緑化協会 (株) 奥原造園	
実施概要	<p>緑のカーテンの設置の意味や効果の説明 地球温暖化防止 アサガオの育て方</p>	
実施状況 (授業風景)	<p>地球温暖化のことを学び、自分たちでできる地球の環境を守る取組みとして始めました。毎年1・2年生がアサガオの種の育成から始めています。夏休みの水やりなど大変ですが、全校で楽しんでもらえるよう頑張っています。</p> <p>屋外(緑のカーテンの外側) 33℃、 緑のカーテンのある教室 28℃、緑のカーテンのない教室 30℃でした。</p> <p>7月になって、グリーンカーテンがグングン伸びて毎日観察していると、成長がともはやく感じます。室内から外を見ると、緑のカーテンが直射日光をさえぎり、目にも涼しく感じます。</p>  	
	記 入 者	野村 ひとみ
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝あさがおの下を通るのが楽しみでした。</li> <li>・水やりを一生懸命しました。</li> <li>・ピンクや青やむらさきの色々な色のアサガオが2階まで伸びていきました。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・葉の茂り方、大きさ、厚さがちょうどよく、真っ暗になるほど日を遮らず、明るい緑色をしているので、日光をやわらかく遮ってくれました。緑のカーテンはどれくらいの温度低減や節電の効果があるのかを来年は調べてみるとよいかと思えます。</li> </ul>	





<p>授 業 名</p>	<p>緑のカーテン設置指導</p>	
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立鎌田小学校</p>	
<p>実施学年、学級、参加人数</p>	<p>4年1組 男子18名 女子18名 計36名</p>	
<p>担当者</p>	<p>速渡 開也</p>	
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成30年5月24日（木）</p>	
<p>講師名</p>	<p>松本市緑化協会 （株）奥原造園</p>	
<p>実施概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奥原造園の奥原さんから、地球温暖化の仕組みや、これからの環境問題などについて説明を受け、緑のカーテンがどのような効果を持つのか学習した。</li> <li>・緑のカーテンにアサガオの種を植え、夏～秋にかけて水やり、草取りなどの世話をした。夏の時期には、みんなでアサガオの花を楽しんだ。</li> </ul>	
<p>実施状況 (授業風景)</p>	 <p>地球温暖化の原因や、これからの環境問題における課題などについて、奥原さんからお話をいただいた。</p>	 <p>緑のカーテンに、朝顔の種を植えた。</p>
<p>記 入 者</p>	<p>速渡 開也</p>	
<p>授業について</p>	<p><b>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緑のカーテンが環境問題に関わりを持っていることを知り、興味深く話を聞いていた。毎日の世話を一生懸命行い、花が咲く時期には、自分たちが育てた花に愛着を持って観察をしていた。植物を育てる楽しさを実感する学習となった。</li> </ul> <p><b>2 先生方の感想、要望等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周りに自然が少なく、実際に植物に触れる機会の少ない子どもたちにとって、環境問題について考え、自分たちで1年間植物を育てる機会はとても新鮮であったように感じた。カーテンの設置やお話など、奥原造園さんにはとても丁寧に教えていただきありがたかった。</li> </ul>	







<p>授 業 名</p>	<p>緑のカーテン設置指導</p>	
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立鎌田中学校</p>	
<p>実施学年、学級、参加人数</p>	<p>鎌田中学校造園委員会 35名</p>	
<p>担当者</p>	<p>辻中 健斗 洞澤 由美子</p>	
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成30年5月31日（木）</p>	
<p>講師名</p>	<p>松本市緑化協会 （株）奥原造園</p>	
<p>実施概要</p>	<p>ゴーヤの植え付け。朝顔の植え付け。</p>	
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>・例年は造園委員会で植え付けをしたが、今回は地元公民館から館長さんがいらっしゃり、植え付けのお手伝いをいただいた。短い時間ながら、45本の苗を一行に植え付けた。設置されたネットと、一行に並んだ苗を見て、夏休み後、一面の緑になるように願いを込めて、水やりをした。</p> <p>・授業後、昼休みや、夏休みの午前中を使い、当番を決めて水やりをした。例年がない酷暑で、なかなか大きくなり、もっと水やりをしなければならぬと気づいた。9月に入ったころから大きくなり、実もつき始め、大きく育てられたことを実感した。</p> 	
<p></p>	<p>記 入 者</p>	<p>辻中 健斗</p>
<p>授業について</p>	<p><b>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うまく育てられなかった。もっと早く大きくするために、水やりを工夫すれば良かった。</li> <li>・自分たちで植え付けて、自分たちで大きく育てることができた。また来年も生徒会活動として取り組みたい。</li> </ul> <p><b>2 先生方の感想、要望等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一番暑い時期にちょうど良く大きくならなかったのは残念だった。</li> <li>・環境を整えるために、植物を活用することはとても意味があると思った。</li> <li>・地域の方と活動ができて良かった。</li> </ul>	

<p>授 業 名</p>	<p>木材の活用法「ペン立て作り」</p>	
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立源池小学校</p>	
<p>実施学年、学級、参加人数</p>	<p>5年1組 28名 5年2組 28名 (計56名)</p>	
<p>担当者</p>	<p>1組担任 吉嶋 哲男 2組担任 塩澤 亜沙美</p>	
<p>実施日(期間)</p>	<p>平成30年10月4日(木)</p>	
<p>講師名</p>	<p>寿さと山くらぶ 鈴木喜一郎さん他6名</p>	
<p>実施概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寿さと山くらぶの方の自己紹介とお話。</li> <li>・代表の鈴木喜一郎さんのお話とペン立ての作り方を聞く。</li> <li>・班ごと、講師の方にご指導いただき、各自ペン立ての製作。</li> <li>・できあがったペン立てをみんなで見合う。</li> </ul>	
<p>実施状況 (授業風景)</p>	 <p>←鈴木さん他の講師の方から木材の話や木材の種類等をお聞きしました。</p>	
<p>→切り方を教えていただきながら、頑張っている姿で丸太を輪切りしました。</p>		
<p>←電動ドリルやグルーガン等を使って作成しました。</p>		
<p>→素敵なペン立てが完成しました。</p>		




	記 入 者	吉嶋 哲男
授業について	<p><b>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しかったです。</li> <li>・自分が用意したもの（落ち葉や拾ってきた枝、ハロウィンのオーナメントなど）を上手に使ってくれて、自分ならではの気に入りのペン立てを作ることができました。ありがとうございました。</li> <li>・鈴木さんのお話が面白かったです。</li> <li>・用意してもらったキノコ（トチの実を加工したもの）がとってもかわいかったです。ありがとうございました。</li> </ul> <p><b>2 先生方の感想、要望等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校だけではなかなか準備できない木材や、木工加工の機械（電動ドリル等）を用意していただくことにより、思い出深い、とても素敵なペン立てを製作することができました。講師の方も6人来てくださり、6班に分かれて少人数で細かいアドバイスを受けながら、安全・安心に作業を行うことができました。感謝です。</li> <li>・できあがりがとても素敵で、子どもたちも自分の作品に大満足でした。ありがとうございました。</li> <li>・以前勤務した学校でも同じ活動をやらせていただきましたが、やはり子どもたち大喜びでした。この事業、このプログラムの継続をぜひお願いしたいです。</li> </ul>	

<p>授 業 名</p>	<p>木の授業とバームクーヘン作り</p>	
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立四賀小学校</p>	
<p>実施学年、学級、参加人数</p>	<p>3 学年 19 名</p>	
<p>担当者</p>	<p>待井 和喜</p>	
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成30年9月27日（木）</p>	
<p>講師名</p>	<p>寿さと山くらぶ 鈴木 喜一郎さん</p>	
<p>実施概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師の先生から年輪のでき方を学ぶ。</li> <li>・バームクーヘンを作って年輪のでき方を体験する。</li> <li>・試食をする。</li> </ul>	
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>→①中庭に集まり、鈴木さんから、木の年輪のでき方や樹齢の教え方を教えていただいた。</p>  <p>←②お話を聞いたあと、バームクーヘンの生地を作りました。80個の卵を割り、交代しながらかき混ぜた。</p>  <p>→③竹の棒に生地を塗り付け、火の上で回す。層になるまで繰り返す。</p>  <p>←④完成したバームクーヘンを竹から取り外し、食べやすい大きさに切ってみんなで食べた。他の学年の子や先生方にも自分たちで作ったバームクーヘンを食べていただくことができた。</p> 	
<p>記 入 者</p>	<p>待井 和喜</p>	
<p>授業について</p>	<p><b>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちはこの日をとても楽しみにしていたようで、お話を聞く際、作業に取り組む際も集中している姿が見られた。</li> <li>・二人一組での作業の時も、声を掛け合い、バームクーヘンが今何歳なのかを確かめながら楽しそうに取り組んでいた。</li> </ul> <p><b>2 先生方の感想、要望等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年輪のでき方を、バームクーヘン作りを通して学び、身近な自然への理解に繋げることができた。また、やけどに注意して作業をするなかで、周りに気を付けて友だちと協力している姿が見られた。</li> </ul>	

<p>授 業 名</p>	<p>竹筒と蜜蝋を使ったキャンドルづくり</p>	
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立四賀小学校</p>	
<p>実施学年、学級、参加人数</p>	<p>特別支援学級（あおぞら・たいよう学級） 計7名</p>	
<p>担当者</p>	<p>高橋 麻里 松井 敦</p>	
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成30年11月28日（水）1～3校時</p>	
<p>講師名</p>	<p>松本市地球温暖化防止市民ネットワーク（エコネットまつもと） 鈴木さん</p>	
<p>実施概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蜜蝋の作り方と蜜蝋の特徴の話を聞く。</li> <li>・竹筒をキャンドルケースにするためのデザインを考える。</li> <li>・竹筒に電気ドリルで穴を開けたり、穴に色を塗ったりする。</li> <li>・キャンドルケースになった竹筒に蜜蝋を入れ火を灯す。</li> </ul>	
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-direction: column;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 60%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蜜蝋について鈴木さんの話をお聞きした。</li> </ul> </div> <div style="width: 35%; text-align: right;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="width: 45%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 45%; text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 60%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフの方と一緒に竹筒を切りデザインを考えた。</li> <li>・竹筒にいろいろな大きさの穴を電気ドリルで開けた。</li> </ul> </div> <div style="width: 35%; text-align: right;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="width: 45%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 45%; text-align: center;">  </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思い思いの竹筒キャンドルを作ることができた。</li> </ul> </div>	
	<p>記 入 者</p>	<p>高橋 麻里</p>
<p>授業について</p>	<p><b>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・竹筒に穴をあける作業で、スタッフの方と一緒にいろいろな大きさの穴を開けたり、自分の考えたデザインを完成させたりする場面で、どの子どもも真剣に集中し、時間を忘れて活動に没頭していた。</li> <li>・「また作りたい」「もっとやりたい」と、終わった後も名残惜しそうであった。</li> </ul> <p><b>2 先生方の感想、要望等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とても楽しそうにはまり込んで作業ができたので、それぞれ思いのこもったよい作品を制作することができた。</li> <li>・スタッフの方にマンツーマンについて頂いたのが、怪我がなくてよかった。</li> <li>・作った作品が、「キャンドルナイト」のイベントで飾られ、友だちや知り合い、家族など多くの人たちに見てもらえ、声を掛けてもらえることが子どもたちの励みになる良い活動だと感じた。</li> </ul>	

<p>授 業 名</p>	<p>体感&amp;体感！自然体験学習 サバイバル（野外体験活動）</p>
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立芝沢小学校</p>
<p>実施学年、学級、参加人数</p>	<p>4 学年 9 2 名</p>
<p>担当者</p>	<p>深澤 舞</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成30年11月7日（水）</p>
<p>講師名</p>	<p>信州やがいたいけん楽校ぶらす 降旗 光幸さん 中村 晃二さん</p>
<p>実施概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネイチャーゲーム</li> <li>・火起こし</li> <li>・燻製（ちくわ・チーズ・ウィンナー・サラミ）にして食べる</li> </ul>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 10px;"> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>アイスブレイクから始まった。チームに分かれて、チーム対抗世界選手権と題したゲームを二つやりました。子どもたちは友だちと協力しながらゲームを楽しんでいた。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>講師の先生に火のつけ方を教わり、三人グループで協力して火起こしをした。苦戦している子が多くいて、火をつける事の大変さを実感していた。火がついた時は大喜びをしていた。時間内に何度もチャレンジし、とても楽しく活動していた。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>ネイチャーゲームでは、自然の中で色々な色を見つける活動をした。青色が難しく見つけるのに苦労していたが、友だちと協力して自然の中から色を見つけ出していた。講師の方から、においのする葉や、真珠のような実を教えていただいた。</p> </div> </div> </div>



<p>実施状況 (授業風景)</p>	 <p>火起こしのやり方をたくさん教えていただいた。講師の方から「火と人は同じ」という火の大切さのお話をして頂いた。その後、火を使った料理法の一つである燻製をした。ちくわ、ウインナー、サラミ、チーズを食べ、「おいしい！」の大絶賛だった。</p>	
	<p>記入者</p>	<p>深澤 舞</p>
<p>授業について</p>	<p><b>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初めて体験する活動ばかりで、始めのアイスブレイクからとても楽しみながら参加していました。火起こしでは、「簡単だと思ったけど、火がつかなくて、昔の人の苦勞が分かった。」という感想を持った子が多くいました。火種から火ができた瞬間に感動する子が多く、いつも当たり前に使われている火の大切さを感じているようでした。ネイチャーゲームでは、校庭の中でいろいろな色を探す中で、校庭にはたくさんの植物や自然のものがあることを発見し、自分たちがいつも過ごしている学校の校庭の良さを実感していました。</li> <li>・燻製では生のちくわと、燻製のちくわの食べ比べをして、全員が燻製のほうがおいしいという感想を持ち、昔からの火を使った料理法の良さを感じていました。「もう一度やりたい！」という子ばかりの4時間でした。</li> </ul> <p><b>2 先生方の感想、要望等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・始めから最後まで全て講師の方が行ってくださりととてもありがたかったです。活動のみに終らず、その活動をするために必要な知識を教えて下さり、子どもたちは「楽しかった」だけでなく、火や自然に対する「大切さ」を感じることができる内容で、とても充実した時間を過ごすことができました。</li> </ul>	

授 業 名	緑のカーテン設置指導「みどりのカーテンをつくろう」	
実施学校名	松本市立島内小学校	
実施学年、学級、参加人数	1 学年 1 5 5 名 2 学年 1 2 0 名	
担当者	1 年担任 大武宗胤 清野寛代 小松 優 滝口雅彦 大日方友紀 2 年担任 岡村亜紀 小池良徳 武田亜紀 上條英子	
実施日（期間）	平成30年5月15日（火）	
講師名	松本市緑化協会 （株）奥原造園	
実施概要	・あさがお・ヒョウタンなどのつるものを、1 学年5 クラス、2 学年4 クラスの計9 クラスで育てることにより、夏の温暖化現象を抑制することを学び、灯笼、リース、ひょうたんの製作へと発展させる活動をした。	
実施状況 (授業風景)	 <p>「なぜ緑のカーテンが必要か」スライドを使って目説明してもらいました。</p>  <p>2 学年教室前の緑のカーテン、2 年生は2 回なので上手に世話ができ、きれいでした。</p>  <p>3 階まで見事にのびた1 年4 組のツルには、くみんな驚きました。</p>  <p>猛暑のためか、今年の緑のカーテンは成長もよ満足のいく活動となりました。</p>	
	記 入 者	齋藤 一弥
授業について	<p><b>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒョウタンも一緒に植えたところ葉の緑がいつそうこくなった。</li> <li>・朝顔の葉にも色々な形があり、種類が様々であることを学んだ。</li> <li>・夏休み前よりも大きくなっている緑のカーテンに驚いた。下に入ってみると本当に涼しかった。</li> <li>・毎朝、朝顔が咲いてくれている。きれいで、うれしかった。</li> </ul> <p><b>2 先生方の感想、要望等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・猛暑も手伝ってか、過去最高のできであった。丁寧に世話をすれば、大きく育ってくれるということが、子どもとともに職員にもわかった。</li> <li>・直接、緑の植物に触れることにより、日に日に大きく成長していく様子を観察していくことをとおして、植物にも命があるということに気づかせるという「花育」ができた。</li> </ul> <p><b>3 その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1, 2 学年による生活科の学習は十分充実できた。高学年との結びつきがやや薄いものとなってしまった。授業時数の関係もあるが、「緑のカーテン」をテーマとして学校全体の「花育」に取り組んでいきたい。</li> </ul>	

授 業 名	木の授業とバウムクーヘン作り	
実施学校名	松本市立菅野小学校	
実施学年、学級、参加人数	特別支援学級1～6年児童 たんぽぽ1・2組、あおぞら1・2・3組 26名	
担当者	特別支援学級担任 松下篤、平沼公恵、赤羽良文、遠藤優子、平出絵里	
実施日（期間）	平成30年10月1日（月） 9：40～11：35	
講師名	寿さと山くらぶ 鈴木喜一郎さん 他3名	
実施概要	<p>1. 木の年輪などの話</p> <p>2. 炭火を使って材料からバウムクーヘン作り</p>	
実施状況 (授業風景)	<p>1. 木の年輪などの話</p>  <p>年輪から年齢や環境がわかることに驚いた。</p> <p>2. 炭火を使って材料からバウムクーヘン作り</p>  <p>順番を守り、卵を割る。 繰り返す内に割り方が上手になる。</p>  <p>順番を守り、2人で協力して焼くことができた。</p>  <p>繰り返す内に、竹を回す速さ、焼き加減など、こつをつかめた。 だんだん太くなり、自分の年齢より年輪が多くなることに満足できた。</p>  <p>煙い中、熱い中頑張って作ったので、とてもおいしかった。</p>	
	記 入 者	赤羽 良文
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全員参加の活動で、どの子も興味を持ち、生き生きと楽しんでいた。</li> <li>・子どもたちは、指示や注意を聞き安全に主体的に活動していた。</li> <li>・自分たちで苦勞し協力して作ったバウムクーヘンはとてもおいしかった。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導してくださる講師の先生が手際よくて、順調に進められてよかった。</li> <li>・子どもたちに分かりやすく動きやすい流れでよかった。</li> </ul>	





<p>授 業 名</p>	<p>生きもの探しと観察及び環境教育講座「自然体験」</p>	
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立菅野小学校</p>	
<p>実施学年、学級、参加人数</p>	<p>3学年 3学級 参加人数 95名</p>	
<p>担当者</p>	<p>千村 真美</p>	
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成30年7月6日（金）</p>	
<p>講師名</p>	<p>いきものみつけファーム in 松本推進協議会</p>	
<p>実施概要</p>	<p>理科「こん虫のからだを調べよう」及び総合的な学習の時間の一環として実施。スカイパークにて4人の講師より下記のテーマで生き物探しと観察を行った。</p> <p>①「ネイチャーゲーム」（公園の中にいる生き物や植物探し）</p> <p>②「草むらの生き物」（滑走路わきの草むらでの昆虫探し）</p>	
<p>実施状況 (授業風景)</p>	  	<p>「ネイチャーゲーム」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビンゴカードに書かれている動物や植物を公園の中で探しました。「花や松葉、松ぼっくりを見つけたよ。」</li> <li>「林の中にはいろんなものがあるな。」</li> </ul> <p>「草むらの生き物」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滑走路わきの草むらで昆虫を探して捕まえました。「網に入ったぞ。」</li> <li>「草と同じ色で見つけにくいな。」</li> </ul> <p>「生き物の観察」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・捕まえた昆虫を観察し合い、名前や体の特徴を知りました。「しょうりょうバッタというんだね。」</li> <li>「きれいな色だなあ。」</li> </ul>






<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div data-bbox="502 145 1013 526" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1077 145 1412 526" data-label="Text"> <p>「虫なりきりゲーム」          ・モズ・カマキリ・バッタになりきり食物連鎖の仕組みを体感しました。          「カマキリがいたぞ。捕まえよう。」          「モズにつかまりそう。何とか逃げ切ろう。」</p> </div>	
	<p>記入者</p>	<p>千村 真美</p>
<p>授業について</p>	<p><b>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ネイチャーゲーム」では、ビンゴカードを使って公園の中で見つけられる生き物や植物を探して楽しむことができました。</li> <li>・「草むらの生き物」では、草むらの中から見つけ出した昆虫を夢中で追いかけたり、捕まえた昆虫をみんなで見合ったり、指導者の先生が教えてくださる種類の名前や、体の特徴を熱心に聞いたりすることができた。</li> <li>・「虫なりきりゲーム」では、それぞれの役割を担当し、食物連鎖の様子を実際に体感することができた。</li> </ul> <p><b>【子どもたちの感想より】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・虫が虫を食べるなんて初めて知りました。モズがカマキリを食べることも知り、もっと虫のことを勉強したいと思いました。</li> <li>・自然の中で生き物がどうやって生きていくのがわかりました。動物のくらしがどれだけ大変なのか、自然の中でどれだけ必死に生きているのかを知ることができました。虫や動物も人間と同じでトラブルや大変な事が多くあってびっくりしました。</li> <li>・『いきものみつけ』の方にわかりやすく説明してもらったり、虫をつかまえる時に手伝ってもらったりしてうれしかったです。</li> </ul> <p><b>2 先生方の感想、要望等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが、自然の様子や昆虫についてじっくり観察する姿が多く見られ、進んで学習できるよい機会になってよかった。</li> <li>・専門の先生方にご指導をいただき、子ども達の捕まえた昆虫を一つひとつ丁寧に学習の中で取り上げてくださり、体験的な学びをつくることができ大変ありがたかった。道具や展開の段取りが十分なされていたことも子ども達の意欲的な活動に結びついていたと感じる。</li> <li>・学校から近く、自然にも十分触れあえるスカイパークがあるので、今後もこの事業を活用していきたい。</li> </ul>	



<p>授 業 名</p>	<p>緑のカーテン設置指導 「ぼくわたしのあさがおさん」</p>
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立菅野小学校</p>
<p>実施学年、学級、参加人数</p>	<p>1 学年 3 学級 参加人数 1 0 0 名</p>
<p>担当者</p>	<p>名取 砂由美</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成 3 0 年 5 月 2 5 日（金） 1 1 月初旬の片づけまで</p>
<p>講師名</p>	<p>松本市緑化協会 （株）奥原造園</p>
<p>実施概要</p>	<p>①緑のカーテンの効用についてのガイダンス講習会 ②緑のカーテンにふさわしい植物 ③種まき・世話のしかた ④生活科の学習を通して単元名「あさがおさんとなかよし」の実施 ・毎日の水やり（あさがおさんおはよう作戦） ・色水遊び ・たたき染め ・たねとり ・リースづくり ・あんどん作り（1 月末実施予定） ※事前に花壇への支柱・ネットの設置もしていただいた。 ※実施後 11 月に支柱の取り外しもしていただいた。</p>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: flex-start;"> <div style="margin-bottom: 20px;">  <p>奥原造園さんに来ていただき、緑のカーテンの効用や適した植物をパワーポイントを活用してわかりやすく教えていただきました。</p> </div> <div style="margin-bottom: 20px;">  <p>「あさがおの種まき」  「みどりのカーテンってなんだろう？」 「たねをまくのがたのしみだな。」  お話を聞いて、ワクワクしている一年生。</p> </div> <div>  <p>「芽が出てきたよ！」  「あっ。めがでてる。」 「たねのかわをかぶっているよ。」 「土をもちあげてる。がんばれー！」  小さな芽に、感動している一年生。</p> </div> </div>

<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>「畑いっぱい、あさがおの芽」 水やりをしながら、大きくなる芽にお話をする一年生。 「うわー。たっくさんめがでているね。」 「もっと、もっと、お水をあげよう。」</p>  <p>「涼しく色水遊び」 緑のカーテンの内側で猛暑を避けながら、たたき染め、色水遊び、妖精ごっこも楽しめました。</p>  <p>「完成した緑のカーテン」 日陰の涼しさを感じながら、花の叩き染めも楽しんだり、種取りもしたりしました。 「いろんないろの花だね。」 「すずしいね。」 「こんなにたねがとれた。」</p> 	
	<p>記 入 者</p>	<p>名取 砂由美</p>
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一年生は、毎年、一人一鉢で『あさがおさんとなかよし』の単元を通じてあさがおを育てています。それと同じようにこの緑のカーテン事業でも小さな種を大切にまき、水をやって育てる姿がありました。小さな芽が出た時には、とてもうれしそうでした。教室の窓の外に、どんどんと蔓が伸び、大きな葉を広げる様子には、鉢のあさがおとは異なり、驚きも感じていました。花の叩き染めや色水作り、種取りまで楽しんだ子どもたちでしたが、カーテン状になってできた日陰の涼しさも感じ取ることができました。</li> </ul> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教室前の前面に支柱やネットを設置したり片付けたりするのは、職員だけではなかなか難しいため、この事業で奥原造園さんに設置や片付けを協力していただくのはとてもありがたいです。支柱やネットは、昨年度まで使用していたものが老朽化したため、新しいものに取り替えていただきました。支柱は毎年取り替えていただくのがよいと思います。ネットは活用できそうです。</li> <li>・夏休み中の水遣りや追肥等も職員も交代で行いながら世話をさせていただき、葉も茂らせることができましたが、効果的なノウハウをさらに教えていただけるとありがたいです。</li> </ul>	



授 業 名	水辺の観察会「川の生き物探し」
実施学校名	松本市立田川小学校
実施学年、学級、参加人数	3年1組24名 3年2組24名 計48名
担当者	川上 桂奈 稲田 祐美
実施日（期間）	平成30年8月28日（火）
講師名	川の自然と文化研究会（NPO）・松本ホテル学会
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・田川（入船橋東側付近）へ行って、生き物探しをすることを通して、自然の中でいろいろな生き物が生きていることを知り、自然への関心を高める。</li> <li>・田川と2年生が採集した奈良井川脇湧水の生き物を比較し、観察記録を取ることで、川にあった生き物が生息していることを知る。</li> </ul>
実施状況 (授業風景)	<p>① 学校で川の自然と文化研究会の先生方と顔合わせをする。田川まで歩いて行き、川原や川で注意することや採集の仕方を聞く。</p>  <p>② 早速、川に入り、タモを使って川の生き物探しをする。島内小からお借りした箱メガネで水中を観察している子もいた。みんな喜んで川の中に入っていた。</p>  <p>③ 生き物を捕まえた子どもは、すぐに講師の先生のところへ行き名前を聞いていた。なかなか見つけられない子もいたが、講師の先生に生き物がいるような場所を教えてもらい、見つけることができた。 ヒゲナガカワトビケラ・コオニヤンマやサナエトンボのヤゴ・シマイシビル・ヒラタカゲロウ・コカゲロウ・シロタニガワカゲロウ・エビ・ドジョウ・ウグイ・ヨシノボリ・オオクチバスが採集された。</p> 



	<p>④ 捕まえた生き物は学校に持ち帰った。ここからは2年生が採集した生き物を持ってきてくださったホタル学会の方も一緒に、生き物について教えていただきながら観察記録を書いた。</p>	
	<p>⑤ 中庭の池で育ちそうな物を選んでもらい、放流した。</p>	
	<p>⑥ 後日、川の生き物探しの本を一人1冊制作した。また、10月の全校集会での学年発表で、田川の生き物について発表したり、クイズを出したりした。</p>	
	<p>記 入 者</p>	<p>稲田 祐美</p>
<p>授業について</p>	<p><b>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年の経験と比べ、湧水にはあまりいなかった魚が、田川にはたくさんいた。水草の根元をかき回すと多く採集できた。</li> <li>・ 川の石をひっくり返すと、トビケラの巣がたくさんあった。糸のような物でしっかりと石に張り付いていた。</li> <li>・ 外来種のオオクチバスがいたので、日本の生き物を守りたいと思った。</li> </ul> <p><b>2 先生方の感想、要望等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講師の先生方や市の環境政策課の方が生き物の採集の仕方を教えてくださり、子ども達は生き物が住んでいるところを予想しながら、楽しく安全に採集活動ができた。川の水量などの安全面配慮やタモやトレーなどの準備をしてくださっていたので、安心して実施ができたことが大変有り難かった。</li> <li>・ 3年生は採集後の観察会も行い、記録の取り方など学習することができた。本校2年生の活動と合わせ、環境によって、同じ川でも住んでいる生き物が違うことが分かった。</li> <li>・ 今後もこのような校外学習を3年生でぜひ行いたい。</li> </ul> <p><b>3 その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年生「水路のザリガニつり」2年生「湧水の生き物探し」3年生「田川の生き物探し」と経験を重ねているので、高学年に活動が継続すると良いと思う。予算が許せば、昨年行った犀川下りなど、川そのものへの活動に発展させたい。</li> </ul>	

授 業 名	生きもの観察
実施学校名	松本市立田川小学校
実施学年、学級、参加人数	2年1組21名 2年2組21名 計42名
担当者	草間 睦実 河合 英樹
実施日（期間）	平成30年8月28日（火）
講師名	川の自然と文化研究会（NPO）・松本ホテル学会
実施概要	奈良井川脇の湧水（松島橋北側付近）へ行って、生き物探しをすることを通して、自然の中でいろいろな生き物が生きていることを知り、自然への関心を高める。
実施状況 （授業風景）	<p>① 学校から奈良井川まで歩いて行き、川原で講師の先生方と顔合わせをする。川での学習で注意することを聞く。</p>  <p>② 早速、川に入り、タモを使って川の生き物探しをする。気温が少し寒かったが、川に入ることを怖がったり気持ち悪がったりする子もいず、みんな喜んで川の中に入っていた。</p>  <p>③ 生き物を捕まえると、子どもたちはすぐに講師の先生のところへ行き、名前を聞いていた。なかなか見つけられない子もいたが、講師の先生に生き物がいるような場所を教してもらい、見つけることができた。</p>  <p>④ 捕まえた生き物を持ち帰りたがる子もいたが、今回は持ち帰らず自然に返すことにした。</p> <p>⑤ あっという間に時間が過ぎてしまい、子どもたちはもっと探したい様子だった。講師の先生方にお礼を行ってから学校に戻った。教室でどんな生き物がいたが、川の様子はどうだったかななどを自分の言葉でまとめた。</p>





	記 入 者	河合 英樹
授業について	<p><b>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どこに虫がいっぱいいるかを教えてもらいました。石の下にいっぱいいました。</li> <li>・ヨコエビとかぼくの知らない生き物をたくさん教えてもらってすごく楽しかった。</li> <li>・ヨコエビの動きがすばやく横に動いていたからヨコエビって呼ばれているんだと思いました。</li> <li>・虫はいろんな形をしていて、それぞれ動きが違うんだなあと思いました。</li> </ul> <p><b>2 先生方の感想、要望等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師の先生方が経験豊富で川についても詳しく、安全面配慮やタモやトレ一などの準備をしてくださっていたので、安心して実施ができたことが大変有り難かった。</li> <li>・このような校外学習を2年生でぜひ行いたい。</li> </ul> <p><b>3 その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童はとても楽しかったようで、後日、お家の人と一緒にもう一度訪れて遊んだ子もいた。</li> </ul>	

<p>授 業 名</p>	<p>緑のカーテン設置指導</p>
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立田川小学校</p>
<p>実施学年、学級、参加人数</p>	<p>1 学年 参加人数 57 名 （1 組 29 名、2 組 28 名）</p>
<p>担当者</p>	<p>1 組担任 古瀬久美子 2 組担任 宮尾 駿</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成30年6月1日（金）</p>
<p>講師名</p>	<p>松本市緑化協会 （株）奥原造園</p>
<p>実施概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映像による、緑のカーテン設置の意味や効果の説明</li> <li>・種まき指導とその後の育て方（水の与え方、つるの増やし方等）</li> <li>・以後、各学級による世話</li> </ul>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div data-bbox="491 734 948 1030" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="986 745 1474 1030">奥原造園さんより、1年生全員で、お話を聞き、学習しました。緑のカーテンとは何か、何のためにやるのか、など1年生にも分かりやすいお話だったので、説明が終わったころには、「種をまいて育てたい。」と意欲をもつことができました。</p> <div data-bbox="504 1169 948 1536" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="986 1216 1474 1462">外に出て、種まきをしました。教えていただいた通りに土に穴をあけ、大切にまき、水をあげました。その後、一人一鉢で育てているあさがおとともに、毎朝、水やりをするのが日課になりました。</p> <div data-bbox="504 1684 943 1980" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="986 1686 1474 1890">毎朝の水やりや草とりのおかげで、だんだんと大きく育ち、屋根の上までつるが伸びたり、花が咲いたりして、子どもたちの嬉しそうな歓声が聞こえるようになりました。</p>



	記 入 者	古瀬 久美子
授業について	<p><b>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緑のカーテンのお話が楽しかったようで、種まきも喜んで行うことができていた。</li> <li>・芽が出るのを楽しみに、毎朝意欲的に水やりを行っていた。種まきをして数日後にはたくさん芽が出たのを見て「思ったより早く芽がでた。」「たくさん芽が出てびっくり。」など嬉しそうな反応を示していた。</li> <li>・その後、子どもたちは、本葉が出たりつるが伸びたりする変化を発見し、驚きをもって担任に報告したり友だち同士で教え合ったりしていた。</li> <li>・つぼみができた時や花が咲いた時もととても嬉しそうで、よく観察をしていた。色水遊びやたたきぞめも十分行うことができた。</li> </ul> <p><b>2 先生方の感想、要望等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・つるを這わせるネット張りからその片づけまで、奥原造園さんには本当にお世話になった。</li> <li>・当日の説明は、テレビを使って話してくださったので、子どもたちも視覚的に理解しやすかった。</li> <li>・1年生は一人一鉢でもあさがおを育てたが、緑のカーテンのあさがおもたくさん咲いたので、思った以上にあさがおでたくさん遊ぶことができ、あさがおに親しみを持つことができた。</li> <li>・思ったよりつるが伸び、色とりどりのきれいな花が咲き、良い環境となった。</li> <li>・草取りを早い段階から行うべきだった。伸びてしまってからでは抜くのが大変だった。</li> <li>・学校側の準備段階で、土に石灰を入れたが、もっとよく耕すなど入念な準備をした方が、もっと大きなカーテンになったかもしれない。</li> <li>・奥原造園さんと連絡を取り合うのに時間がかかってしまったので、もっとスムーズに行えるといい。</li> </ul>	




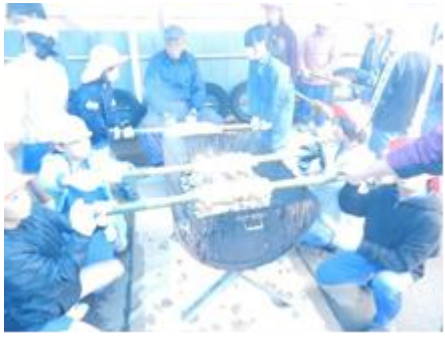
<p>授 業 名</p>	<p>緑のカーテン設置指導 理科 植物の成長</p>	
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立中山小学校</p>	
<p>実施学年、学級、参加人数</p>	<p>4 学年 1 6 名</p>	
<p>担当者</p>	<p>担任 伊藤 拓(4年) 宮寄さや香(2年)</p>	
<p>実施日(期間)</p>	<p>平成30年5月12日</p>	
<p>講師名</p>	<p>松本市緑化協会 (株) 奥原造園</p>	
<p>実施概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘチマの成長の予想</li> <li>・学級による世話、継続観察</li> </ul>	
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>(4年の授業)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①ヘチマの種子の観察、長さや重さを測り、成長したヘチマの長さや重さを予想する。</li> <li>②種まき、苗作り。</li> <li>③子葉と本葉、雌花、雄花、の観察。長さや気温を継続観察し、グラフに記入する。</li> <li>④夏休み前(写真)と後にヘチマの大きさを比べる。 ヘチマの成長のグラフと、季節ごとの温度変化のグラフを比較しながら、ヘチマの成長の条件を考える。</li> </ol> <p>(2年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘチマの種を蒔いたが発芽せず、設置していただいたグリーンカーテンを有効利用することができなかった。</li> </ul> <div data-bbox="1241 689 1469 1099" data-label="Image"> </div>	
	<p>記 入 者</p>	<p>担任 伊藤 拓</p>
<p>授業について</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・水をあげたり草を取ったり、毎日頑張って世話をしていた。</li> <li>・小さな種から、葉やつるがぐんぐん伸びて、大きなヘチマの実がなったことに驚いていた。</li> <li>・つるの触手がのびて網をつかむ様子や、重たいヘチマが細いつるにぶらさがっている様子に気づき、顔を近づけて観察していた。</li> </ul> </li> <li>2 先生方の感想、要望等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーンカーテンで作る朝顔のトンネルなど、子どもたちが理科(植物の成長)に関心を持つことができる学校環境作りにもグリーンカーテンを活かしていけるとよい。</li> <li>・目的意識を持った、グリーンカーテンの活動になるよう工夫したい。(例：夏の暑さからうさぎ小屋を守る等)</li> </ul> </li> <li>3 その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回奥原さんにグリーンカーテンの効果や、種まき等の授業が未実施で、ネットの設置だけになってしまったが、しっかりと打合せをして、授業を実施していただけるようにしていきたい。</li> </ul> </li> </ol>	

<p>授 業 名</p>	<p>自然と触れ合い感性を育てる活動簡単な工作で道具が使えるようになる活動 「どんな生きものがあるのかしらべてみよう」</p>	
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立並柳小学校</p>	
<p>実施学年、学級、参加人数</p>	<p>2 学年 2 学級 6 1 名</p>	
<p>担当者</p>	<p>山守 弾</p>	
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成30年7月13日（金）</p>	
<p>講師名</p>	<p>NPO法人わおん（代表者 山田 勇さん）</p>	
<p>実施概要</p>	<p>学校近くの水路で水生生物調査を行った。</p>	
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>たくさんの生き物を捕まえることができました。捕まえた生き物は、カワゲラ・サワガニ・ナガレトビケラでした。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>普段、川で遊ぶ機会が少ない子どもたちにとっては、とても貴重な体験だったように思います。とても楽しみながら生き物を捕まえていました。</p>	
<p>記入者</p>	<p>山守 弾</p>	
<p>授業について</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の学校の近くの用水路にこれほどたくさんの生き物があることを知った子どもたち。とても驚いていました。新しい発見ができ、子どもたちにとって楽しい授業になったと思います。</li> </ul> </li> <li>2 先生方の感想、要望等             <ul style="list-style-type: none"> <li>・用具等もすべて貸してくださり、とても助かりました。また、機会があればやりたいと思います。</li> </ul> </li> <li>3 地域の方の感想             <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全ボランティアで参加している方が地元の水路にこんなに生き物がいるとは思わなかったと驚いていました。楽しみながら参加してくださりました。</li> </ul> </li> </ol>	

<p>授 業 名</p>	<p>ぬかくどご飯炊き体験</p>
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立二子小学校</p>
<p>実施学年、学級、参加人数</p>	<p>3年1組 18名 3年2組 19名</p>
<p>担当者</p>	<p>3年1組担任 細山 ゆかり 3年2組担任 高山 賢司</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成30年11月12日（月）</p>
<p>講師名</p>	<p>NPO 法人安曇野ふるさとづくり応援団 代表 等々力さん 宮崎さん</p>
<p>実施概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お米作りのお話を聞き農家の方の工夫や大変さを知る。</li> <li>・ぬかを使ってごはんを炊く様子を間近で見て、ごはんが炊けていく様子や、電気を使わなくてもごはんが炊けることを知る。</li> <li>・炊き上がったごはん一人で一人ひとりおにぎりを作り、ぬかくどで炊いた無農薬のお米のおいしさを味わう。</li> </ul>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>1. 無農薬のお米作りのお話を聞きました。</p> </div> <div style="width: 60%;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%; margin-top: 20px;"> <div style="width: 30%;"></div> <div style="width: 60%;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>2. ぬか（もみがら）を入れてごはんを炊く様子を間近で見ました。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>3. 炊き上がったごはん一人で一人ひとりおにぎりを作りました。</p> </div> <div style="width: 60%;">  </div> </div> </div>



	記 入 者	高山 賢司
授業について	<p><b>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気を使わなくてもごはんが炊けたのでおどろいた。</li> <li>・「ぬかくど」という言葉を初めて聞いた。</li> <li>・ごはんが炊けると、とてもよいにおいがした。</li> <li>・おにぎり作りが楽しかったし、とてもおいしかった。</li> </ul> <p><b>2 先生方の感想、要望等</b></p> <p>もみがらでごはんを炊くという、先人の知恵に感心しました。それを実際に見ることができ、子どもたちにとって大変貴重な経験になりました。社会科の学習にも活かしていきたいと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師の先生方が温かくていねいに説明してくださり、ありがたかったです。</li> <li>・米つぶ一粒のありがたみを感じ、給食の食べ残し等の指導にも生かしていきたいと思いました。</li> </ul>	

<p>授 業 名</p>	<p>木の授業とバウムクーヘン作り</p>
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立二子小学校</p>
<p>実施学年、学級、参加人数</p>	<p>4年1組26名 4年2組27名</p>
<p>担当者</p>	<p>4年1組担任 赤羽織恵 4年2組担任 中山靖隆</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成30年11月6日（火）</p>
<p>講師名</p>	<p>寿さと山くらぶ</p>
<p>実施概要</p>	<p>1 木の年輪についてのお話 ・木を切ると年輪があり、年輪を見ると木の年齢やその年の気候がわかるというお話しをしていただいた。</p> <p>2 バウムクーヘンづくり ・竹に生地をつけ、回しながら繰り返し焼き、安全に気をつけて友達と力を合わせてバウムクーヘンを作った。</p>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>1、材料を自分たちで混ぜて生地作りをしました。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;">   </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>2、友達と協力し、安全に気をつけながら焼いていきました。</p> </div>

	記 入 者	赤羽 織恵
授業について	<p><b>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木の年輪を見ると木の年齢がわかったり、その年は寒かったのか温かかったのがわかったり、いろんなことがわかるんだなと思いました。</li> <li>・何回も何回も生地をつけて焼くと本当に木の年輪のようになって楽しかったです。火の近くで焼くのは熱かったけれど、焦げないように焼くことができてよかったです。</li> <li>・煙がたくさん出たり、熱くて大変だったけれど、おいしいバウムクーヘンができてよかったです。お母さんがバウムクーヘンが大好きなので、お家で一緒に食べたいです。</li> <li>・生地をつけてから竹をゆっくりまわして焼きました。何回も生地をつけて焼くとだんだんとバウムクーヘンが大きくなっていきました。焼き上がったバウムクーヘンを食べたら、ほかほかしていて甘くておいしかったです。</li> </ul> <p><b>2 先生方の感想、要望等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・打ち合わせの段階から、とても丁寧にお話しや準備をしていただき、スムーズに進めることができました。当日は、雨が降っていましたが、ブルーシートで雨よけを作っていただいたので、バウムクーヘンを作り上げることができ、ありがたかったです。</li> <li>・木の輪切りを示していただいたことで、年輪を見れば木の年齢がわかること、年輪の間隔を見れば、その年の気候を想像することができるのと知ることができました。子ども達も興味を持ってお話しをお聞きすることができました。</li> <li>・バウムクーヘン作りを初めて体験する子が多かったのですが、作り方や作業の方法、気をつけることまでしっかりお話しいただいたので、友達と協力して材料を混ぜたり、安全に気をつけて焼いたりすることができました。とても真剣にバウムクーヘンを焼く子ども達の姿が印象的でした。</li> <li>・できあがったバウムクーヘンをとっても大事に食べていました。「弟にあげる」「お母さんにあげる」と言って嬉しそうにしている子がたくさんいました。おみやげ用のバウムクーヘンもあり、とてもよかったです。</li> </ul>	

<p>授 業 名</p>	<p>木の授業とバームクーヘン作り</p>
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立二子小学校</p>
<p>実施学年、学級、参加人数</p>	<p>特別支援学級 10名</p>
<p>担当者</p>	<p>あおぞら学級担任 波多腰 智恵 ひまわり学級担任 百瀬 清美</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成30年11月13日（火）</p>
<p>講師名</p>	<p>寿さと山くらぶ</p>
<p>実施概要</p>	<p>1 年輪についてのお話 ・年輪のでき方を見ながらその年輪ができた年はどんな気候であったのかを想像してみることができるというお話を聞いた。</p> <p>2 バームクーヘン作り ・作り方を聞きながらみんなで生地をこね、ペアで竹の棒を持ってくり返し焼き、バームクーヘンを作った。</p>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>1 うちわで 火を大きくしよう</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>2 生地づくり</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>3 生地がたれないように回すのが 難しかったね</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>4 バームクーヘンのできあがり</p> </div> </div>




	記 入 者	波多腰 智恵
授業について	<p><b>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・粉をたくさん入れたので、びっくりした。</li> <li>・焼くときに、生地がたれないように回すのが大変だった。</li> <li>・みんなで順番にやって、楽しかった。</li> <li>・何回も生地をつけて焼いてバームクーヘンになるのがおもしろい。</li> <li>・くるくる回すのが大変だった。</li> <li>・おみやげを持って帰ることができてうれしかった。</li> <li>・去年よりも上手に焼けてうれしかった。</li> </ul> <p><b>2 先生方の感想、要望等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この日は、松本養護学校の児童1名との交流も兼ねていたもので、とても有意義な活動になりました。特に順番を待ったり、2人組で協力したりするところが苦手な児童にとって、大変勉強になる活動でした。</li> <li>・昨年度も同じ内容で体験した児童は、見通しを持って活動に取り組み、友だちや下級生に教えてあげるなどの姿もあり、とても良い活動になりました。</li> <li>・各家庭へおみやげを持ち帰り、お家の方と一緒にバームクーヘンの話題で盛り上がりたりおいしく食べたりできて良かったと、連絡帳を通して保護者の方からコメントをいただきました。</li> <li>・普段ではなかなかできない活動をさせていただき、ありがとうございます。準備や片付け、火の管理なども細心の配慮をいただき安全で楽しく活動できました。</li> </ul>	

<p>授 業 名</p>	<p>緑のカーテン設置指導</p>	
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立二子小学校</p>	
<p>実施学年、学級、参加人数</p>	<p>1年1組 23名 1年2組 22名</p>	
<p>担当者</p>	<p>1年1組担任 山口 弘子 1年2組担任 瓜生 かよ 環境教育担当 高山 賢司</p>	
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成30年5月30日（水）</p>	
<p>講師名</p>	<p>松本市緑化協会 （株）奥原造園</p>	
<p>実施概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーポイントにより、わかりやすいイラストを見たりお話を聞いたりしてカーテン設置の意味やその効果について学習した。</li> <li>・種のまき方とその後の育て方（水の与え方、つるの増やし方など）についての説明を聞いた。</li> <li>・実際にカーテン設置場所にて、種のまき方の指導を受ける。</li> <li>・以後、各学級により世話を進めた。</li> <li>・冬には、ネットの撤去作業をしていただいた。</li> </ul>	
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1. 緑のカーテンとはどのようなものか、何のためにやるのかなど、わかりやすい説明を聞き、学習した。</p> </div>	  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>2. まき方の説明を聞き、実際に種をまき、水やりをした。</p> </div> 
<p>記入者</p>	<p>高山 賢司</p>	
<p>授業について</p>	<p><b>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どうして緑のカーテンと呼ぶのか、初めてわかった。</li> <li>・ 種のまき方がわかった。</li> <li>・ 楽しく活動できた。</li> </ul> <p><b>2 先生方の感想、要望等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前日までに、ネットを張りにきていただき、ありがたかったです。</li> <li>・ パワーポイントで1年生にもわかりやすく説明していただきました。</li> </ul>	

<p>授 業 名</p>	<p>緑のカーテン作り設置指導</p>	
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立本郷小学校</p>	
<p>実施学年、学級、参加人数</p>	<p>1, 2年4クラス (104人)</p>	
<p>担当者</p>	<p>担任 小笠原督 山岸恵子 赤羽あゆみ 松本諒子</p>	
<p>実施日 (期間)</p>	<p>平成30年 5月31日 (木)</p>	
<p>講師名</p>	<p>松本市緑化協会 (株) 奥原造園</p>	
<p>実施概要</p>	<p>・緑のカーテンでは、あさがおのツタを窓際に設置したネットに這わせて育て、日の光を遮ることで緑のカーテンが出来る事を学んだ。地球温暖化も騒がれている中、自然のものを使って涼しさを作るよさについて学んだ。                  ・学年の実態にあわせ、育てたものを使ってリース作りを行った。</p>	
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>緑のカーテンについて説明を聞く</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>朝顔の種をまく</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>つるを網から取り除く</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>つるをまいて、リースを作る</p> </div> </div>	
<p>記 入 者</p>	<p>塚原 章治</p>	
<p>授業について</p>	<p><b>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・植物の成長を楽しみに、水くれや草取りなどの世話を責任を持って行っていた。</li> <li>・朝顔のリース作りでは、「もっと太くしたいな。」「もう少し巻いてみよう!」と言いながら、休み時間なども使い、根気よくリース作りに取り組んだ。</li> <li>・「2階までつるがのびた!」「こんなに長くなるんだ!」など、つるの長さに驚く声が多かった。あさがおのたくましく育つ姿を感じることができた。</li> </ul> <p><b>2 先生方の感想、要望等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校では簡単にはできない棚を作っていただき、さらに絵などを使ってわかりやすく緑のカーテンについて説明をしていただきありがたかった。また、棚を作っていただいた後は、クラスによって育てたい植物を考え、その後何をしたいかなど学習を発展させることが出来た。</li> <li>・低学年ではあるが、子ども達になり涼しさを感じたり、自然のよさを感じることができたと思う。</li> <li>・実際に自分たちで育てることで、愛着がもてた。</li> </ul>	

授 業 名	竹筒と蜜蠟を使ったキャンドルづくり	
実施学校名	松本市立明善小学校	
実施学年、学級、参加人数	5年2組 27名	
担当者	内川 さつき 教諭	
実施日（期間）	平成30年5月28日（月） 平成30年6月22日（金）	
講師名	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク（エコネットまつもと） 宮澤 信さん 寿さと山くらぶ 鈴木 喜一郎さん	
実施概要	① 地球温暖化（いま地球で何が起きているか）と温暖化対策ワークシートの学習 ② 間伐材を使った竹キャンドルフード作りと蜜蠟・廃油キャンドルの学習 ③ 美術館のキャンドルナイトへの作品展示 ④ 温暖化対策ワークシートへの取り組み	
実施状況 (授業風景)	① 宮澤気象予報士から宇宙や歴史から見た地球環境や気候変動をとおして、身近な環境問題（自然災害・食糧問題・自然エネルギー等）について学びました。  ② 間伐材の竹を自分たちで加工してキャンドルフードを作りました。キャンドルには、自然由来の蜜蠟や廃油を活用したものを使います。  ③ 製作したキャンドルフードを地球温暖化防止の啓発イベント「美術館のキャンドルナイト IN MATSUMOTO」（6月、松本市美術館）に出展しました。  ④ 温暖化対策ワークシートを使って日々の生活から温暖化対策を考え実行しました。	
	記 入 者	下村 純 内川 さつき
授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・寿さと山クラブや公民館の方々が熱心に教えてくださったので、竹キャンドル作りを楽しみながら意欲的に取り組んでいた。 2 先生方の感想、要望等 ・やれば、子どもたちにとって生きる活動なのですが、現状、教育活動の中に積極的に取り入れていく時間が十分にとれません。公民館や寿さと山クラブのみなさんに準備等大変お世話になり感謝しています。	



<p>授 業 名</p>	<p>体感プログラムを中心とした自然体験学習 「様々な自然体験で、野外活動の楽しさを知ろう。」</p>
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立波田小学校</p>
<p>実施学年、学級、参加人数</p>	<p>まつかぜクラス(特別支援学級)12人</p>
<p>担当者</p>	<p>大堀 栄貴</p>
<p>実施日(期間)</p>	<p>平成30年 9月14日(金) 午前9時30分から13時00分 平成30年10月16日(火) 午前9時30分から11時30分 平成30年11月 5日(月) 午前9時30分から13時00分 平成30年12月21日(金) 午前9時40分から13時00分 平成31年 2月18日(月) 午前9時30分から13時00分</p>
<p>講師名</p>	<p>体験創庫かけはし 藤村哲さん 塩原昭平さん 塩原大さん</p>
<p>実施概要</p>	<p>9月14日：火起こし体験 10月16日：稲刈り体験 11月 5日：脱穀体験 12月21日：しめ縄作り体験 2月18日：雪遊び体験と今までの振り返り</p>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>10月16日の稲刈りの様子</p>  <p>講師の方から稲刈り鎌の使い方を、最初に子ども達へ説明していただいた。</p> <p>稲刈りが終わった後、束ねた稲藁をはぜにかける「はぜかけ」を子ども達は体験した。</p>  <p>稲刈りとはぜかけが終わった後は、田んぼとその近辺に生息するいきもの観察を、子ども達は楽しく実施した。</p> 

	<p>全体写真</p> 	
	<p>記入者</p>	<p>大堀 栄貴</p>
<p>授業について</p>	<p><b>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火起こしや稲刈り、脱穀など様々な体験ができて嬉しかった！</li> <li>・火起こしや稲刈り鎌は難しいけどおもしろい。</li> <li>・稲は束ねるとけっこう重い！</li> <li>・この畑や田んぼには昆虫(トンボなど)や生き物(カエルなど)がたくさんいてすごい。</li> <li>・お米をつくるのもけっこう大変だ。</li> <li>・しめ縄作りは難しかったけど上手にできてうれしかった。</li> </ul> <p><b>2 先生方の感想、要望等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常日頃かならず口にする「お米」はどのように収穫されるのかを、子ども達は真剣に学んでいた。春に「手植えで田植え」も私(藤村)の田んぼで経験している子ども達が多数であり、より学びと気づきが多かったように見受けられる。</li> </ul>	

## ☆講師コメント☆

松本市小中学校環境教育支援事業を実施した講師の皆さんから、コメントをいただきました。



### 合同会社リトルピークス 小峰邦良

今回も子ども達の頑張る姿と笑顔に大感動！黒川溪谷を必死に遡り、梓川の深い淵で泳ぎ、島々谷川に到着！！大人も子どもも全力でチャレンジする姿はいつ見てもガイド冥利に尽きません。今回の体験を基に地域の自然を見つめ直し、より身近な存在に感じてくれると嬉しいです。是非とも子ども達が外遊び常習犯になってくれる事を期待しております（笑）。

それではまた来年皆さんのキラキラの笑顔に出逢えることを今から楽しみにしております。

### 自然観察の会 ひこばえ 村上さよ子

子どもたちと一緒に学習公園内を歩きまわっていると、朝の見まわりで発見した（私にとっては大発見）アマガエルの冬支度（冬眠したく）の様子を、何と、子どもたちも見つけてくれました。高さ1mほどで切られた直径15cmの木の切り株を上からのぞいてみると、中心部は朽ちて木くずがたまった状態の中にアマガエルが二匹顔をだしていました。カエルの冬眠の様子はかつて家の庭先でもよく見かけたけれど、切り株の中は初めてのシーンでした。子どもたちにさわられてアマガエルのほうは危険を察知したのか、早々にそこから逃げ出してしまうましたが、日常を自然の中ですごす今井の子どもたちの観察の目に、今年もまた感心させられました。

### 松本ホタル学会 藤山静雄

子供達の自然を見る好奇心や不思議に思うことにアドバイスできることに興味を持ち、引き受けさせて頂きました。彼らが奈良井川に出て、初めは恐る恐る生き物を捕まえ、次第に多くに出会うと引き込まれて強い好奇心や疑問を持ち、ついにミズカマキリはどんな虫？シマドジョウはどんな一生？シマイシビルがいる意味は？ガムシは？サカマキガイは？と私達講師陣を質問攻めにしました。そしてそれを受け次週の授業では彼らの好奇心や学習は授業時間内には収まらず、保護者を交えての発表会を企画するまでになりました。目を見張るやる気に充実感を強く感じました。





平成30年度  
松本市小中学校環境教育支援事業  
学習プログラム一覧



## 平成30年度 小中学校環境教育支援事業 講座一覧

No.	分類	講座名称	講師	項
1	自然体験 環境知識	・プロジェクト・ワイルド等を使用した環境学習	認定NPO 法人信州まつもと山岳ガイド協会 やまたみ	44
2	自然体験	・自然と触れ合い感性を育てる活動 ・簡単な工作で道具が使えるようになる活動	NPO 法人わおん	45
3	自然体験 環境知識 生活力	・梓川リバーアドベンチャー ・梓川&奈良井川&犀川ラフティング ・地元の山が100倍好きになる登山学 ・梓川大好き！大河の一滴プロジェクトスライドショー	合同会社リトルピークス	46
4	自然体験 環境知識	・ぬかくご飯炊き体験 ・地域発見ウォーキング	NPO 法人安曇野ふるさとづくり応援団	47
5	自然体験 環境知識 生活力	・いきもの探しと観察及び環境教育講座 ・プランター菜園講座 ・精米工場の見学と、お米の作り方、流通、循環について学ぶ ・田んぼの生き物と豊かな農地を学ぶ	いきものみつけファーム in 松本推進協議会	48
6	環境知識	・ツキノワグマの生態を知ろう	NPO 法人信州ツキノワグマ研究会	49
7	自然体験 環境知識	・水辺の生物の観察会	NPO 法人川の自然と文化研究所	50
8	環境知識	・やさしい放射線の実験教室 ・水はどこから？	株式会社 環境技術センター	51
9	環境知識	・地球環境問題・地球温暖化問題と自然エネルギーを学ぶ ・竹筒と蜜ろうを使ったキャンドルづくり ・小水力発電機による自然エネルギー体験	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク(エコネットまつもと)	52
10	生活力	・裁縫作業指導(マイ箸収納用袋制作)	松本市社会福祉協議会 ボランティアセンター	53
11	自然体験 環境知識	・あかりのエコ教室 ・エコと太陽光発電教室	パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 松本電材営業所	54
12	環境知識 生活力	・木の授業とバウムクーヘン作り ・木材の活用法	寿さと山くらぶ	55
13	自然体験 環境知識	・緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会	56
14	自然体験 環境知識	・身近な自然観察(四季折々を楽しみながら) ・水辺(小川)の自然観察・まちなかの自然観察 ・外来植物(外来生物)って何？	自然観察の会 ひこばえ	57
15	自然体験 環境知識 生活力	・体感プログラムを中心とした自然体験学習	体験創庫かけはし	58
16	自然体験 生活力	・体感&体感! 自然体験学習!!	信州やがいたいけん楽校ぶらす	59
17	環境知識 生活力	・木質バイオマスエネルギー利用方法 ・地球温暖化防止・SDGs	自然エネルギーネットまつもと	60
18	自然体験 環境知識	・水辺の観察会	NPO 法人えんどっこ	61
19	自然体験 環境知識 生活力	・リサイクル・リユースについてのワークショップ	フリマネット信州	62
20	自然体験 環境知識	・今、自然を大切にすることがなぜ大切か？ ・生きもの観察	松本ホテル <sup>まなぶ</sup> 学会	63
21	自然体験 環境知識 生活力	・子どもの森の健康診断	森の健康診断出前隊	64
22	環境知識	・まつもとの環境について学ぼう 「松本市環境基本計画関連講座」	松本市環境政策課	65

## 学習プログラム 教科・領域との関連について

○ 講座ごとに、教科、領域を関連づけました。

ご要望に応じ対応可能ですので、あくまで参考としてください。

No.	講座名	関連する主な教科・領域							
		社会	理科	技術	家庭	生活	画工美術	総合	特別活動
1	・プロジェクト・ワイルド等を使用した環境学習	○	○			○		○	○
2	・自然と触れ合い感性を育てる活動 ・簡単な工作で道具が使えるようになる活動		○			○	○	○	○
3	・梓川リバーアドベンチャー ・梓川&奈良井川&犀川ラフティング ・地元の山が100倍好きになる登山学 ・梓川大好き！大河の一滴プロジェクトスライドショー	○				○		○	○
4	・ぬかくどご飯炊き体験 ・地域発見ウォーキング	○			○			○	○
5	・いきもの探しと観察 ・プランター菜園講座 ・精米工場の見学と、お米の作り方、流通、循環について学ぶ ・田んぼの生き物と豊かな農地を学ぶ	○	○			○		○	○
6	・ツキノワグマの生態を知ろう	○	○			○		○	○
7	・水辺の生物の観察会		○					○	○
8	・やさしい放射線の実験教室 ・水はどこから？	○	○			○		○	○
9	・地球環境問題・地球温暖化問題と自然エネルギーを学ぶ ・竹筒と蜜ろうを使ったキャンドルづくり ・小水力発電機による自然エネルギー体験	○	○				○	○	○
10	・裁縫作業指導(マイ箸収納用袋制作)				○			○	○
11	・あかりのエコ教室 ・エコと太陽光発電教室	○	○		○			○	○
12	・木の授業とバウムクーヘン作り ・木材の活用法	○	○				○	○	○
13	・緑のカーテン設置事業	○	○			○		○	○
14	・身近な自然観察(四季折々を楽しみながら) ・水辺(小川)の自然観察・まちなかの自然観察 ・外来植物(外来生物)って何？	○	○			○		○	○
15	・体感プログラムを中心とした自然体験学習	○	○			○		○	○
16	・体感&体感！自然体験学習!!		○		○	○		○	○
17	・木質バイオマスエネルギー利用方法 ・地球温暖化防止・SDGs	○						○	○
18	・水辺の観察会		○			○		○	○
19	・リサイクル・リユースについてのワークショップ	○			○			○	○
20	・今、自然を大切にすることがなぜ大切か？ ・生きもの観察		○			○		○	○
21	・子どもの森の健康診断	○						○	○
22	・まつもとの環境について学ぼう 「松本市環境基本企画関連講座」	○	○		○			○	○

- 講師の選定、講座内容の作成に際して、一般社団法人長野県環境保全協会中信支部、松本商工会議所及び市民団体等の協力をいただいています。
- また、支援事業のコーディネートについて、中信地区環境教育ネットワークの協力をいただいています。


【分類：自然体験、環境知識】

講座名称	プロジェクト・ワイルド等を使用した環境学習 (講座 No. 1)
支援事業内容	<p>プロジェクト・ワイルドとは野生生物を通して、幅広い教科にわたる補足的な環境教育と保全教育の学習プログラムです。</p> <p>プロジェクト・ラーニング・ツリーとは、樹木や森林をきっかけとして、自然の気づきに導き、環境問題に関心を持ってもらう環境教育プログラムです。</p> <p>プロジェクト WET とは、水資源を認識しそれぞれの個人の生涯にわたる水に対する責任感と、積極的な社会参加意識を高めるプログラムです。</p> <p>場所：学校の敷地内・教室、美ヶ原三城キャンプ場（美ヶ原キャンプ時の 2 時間程度）、乗鞍高原、松本市アルプス公園など</p> <p>プロジェクト・ワイルド等の資格者が、学校の希望テーマに沿ったプログラムを提供します。学校でテーマが特にならない場合は、「温暖化」「鹿の食害」など、現地の実態に即したテーマでプログラムを提供します。雨天の場合は屋内でのプログラムに変更可能です。</p>
対象学年（年齢）	幼稚園児以上、学年に応じた授業内容を相談しながら内容決定
時間数	1 時間から 2 時間程度
講師人数	プログラム及び生徒人数により調整
費用	<p>【講師謝礼】 講師 1 名につき 5,000 円（授業 1 回毎）</p> <p>【その他】 場所によっては移動費をお願いすることもあります。</p>
学校側で必要な準備	プロジェクター、文具（筆記用具・模造紙・A 4 用紙・プロッキーなど）、体育館やなどの広い場所
講師からの持込資材等	上記以外の必要な文具等
講師について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師はプロジェクト・ワイルド、ラーニングツリー、WET などの資格を持ったメンバーを中心に派遣します。</li> <li>・当会は山岳ガイド、登山ガイド、自然ガイドなどの資格を持ったメンバーの集まりです。ガイドをしながら自然に関する知識などを伝えています。</li> <li>・子どもたちには、住んでいる地域の自然を資源として認識してもらえよう活動しています。</li> </ul>
開催実績	<p>松本市立会田中学校（学習林を使用してプロジェクト・ワイルド）（室内で地球の水の量を比較するプロジェクト・WET）・松本市立開智小学校（美ヶ原キャンプ時にプロジェクト・ワイルド）・松本市源池小学校（登山道と森林の仕組みの講話）</p> <p>ドンボスコ保育園（遠足時にアルプス公園でプロジェクト・ワイルド）・松本大学観光ホスピタリティ学科で学生の野外授業時のプロジェクト・ワイルド・松本市環境政策課エコスクール シカの角を探そう、ライチョウに会いに行こう等</p>
その他	学校登山や美ヶ原キャンプなどの年間行事の事前・事後学習として組み合わせることも可能です。
講師連絡先	<p>【団体名】 認定 NPO 法人信州まつもと山岳ガイド協会やまたみ</p> <p>【担当者名】 石塚 聡実 【代表者名】 穂苅 康治</p> <p>【TEL】 0263-34-1543（平日 9:00～17:00）</p> <p>【FAX】 0263-55-6194</p> <p>【Eメール】 info@yamatami.com</p> <p>【HP】 https://www.yamatami.com</p> <p>【住所】 〒390-0304 松本市大村 1082-4</p>
申込み方	申込書を上記 FAX に送付してください。その後、学校指導課担当者にも送付してください。その後、学校から講師へ連絡をとり、事前打合せの日程を決めて、事業を開始してください。







【分類：自然体験】

講座名称	<p>1 自然と触れ合い感性を育てる活動 (講座 No. 2)</p> <p>2 簡単な工作で道具が使えるようになる活動</p>
支援事業内容	<p>1 学校の校庭などの身近な自然で、自然と触れ合い感性を育てる活動</p> <p>2 自然の素材で作る簡単な工作で、道具が使えるようになる活動</p> <p>講師を派遣し学校近隣（校内を含む）で行う学習支援。事前打ち合わせの中で、活動内容や狙いを確認。学校の希望に合わせたプログラムとする。（野外の活動を希望する場所があれば、そこで実施可能）</p> 
対象学年（年齢）	3歳～大人まで
時間数	1～2時間程度 (希望時間に応じたプログラムを実施することもできます。)
講師人数	児童・生徒 20人に対して1人の講師 (安全確保の観点から、最低2名での実施を希望します。)
費用	<p>【講師謝礼】講師1名につき5,000円（授業1回毎）</p> <p>【その他】クラフトを実施する場合、材料費（1人100円～200円程度）</p>
学校側で必要な準備	申込時・事前の打合せを通じて別途相談（基本的には特にありません。)
講師からの持込資材等	プログラムに使用する備品、工具など
講師について	塩尻市を拠点に、自然体験活動を実施している法人です。小学生を対象にした年間の自然体験活動や、保育園、児童館などへの出前講座を行っています。
開催実績	平成28年度 田川小学校 学校の近くの田川でネイチャーゲームなどの自然体験活動 朝日村主催「あさひ環境のつどい」の講師など 平成29年度 島内小、教育課程「自然体験（ネイチャーゲーム）」
その他	
講師連絡先	<p>【団体名】NPO法人わおん 【代表者名】山田 勇</p> <p>【担当者名】山田 勇</p> <p>【TEL】0263-87-3005（朝9時以降なら連絡可能）</p> <p>【FAX】0263-87-4024</p> <p>【Eメール】waon@ac.auone-net.jp</p> <p>【HP】http://waon.naganoblog.jp/</p> <p>【住所】〒399-0704 塩尻市広丘郷原 685</p>
申込み方法	申込書を上記FAXに送付してください。その後、学校指導課担当者にも送付してください。その後、学校から講師へ連絡を取り、事前打合せの日程を決めて、事業を開始してください。



【分類：自然体験、環境知識、生活力】

講座名称	<p>1 梓川リバーアドベンチャー (講座 No. 3)</p> <p>2 梓川&amp;奈良井川&amp;犀川ラフティング</p> <p>3 地元の山が100倍好きになる登山学</p> <p>4 梓川大好き！大河の一滴プロジェクトスライドショー</p>
支援事業内容	<p>1 梓川の伏流水を歩き、泳ぎ、渡り、時にはライフジャケットでプカプカ～目指すは大河犀川！ *場所は校区内の川に変動自由。身近な川を大好きになろう！！</p> <p>2 松本市を貫流する梓川・奈良井川・犀川を舞台に、仲間ワイワイ川下り。安全安心をモットーに活動中。川の安全講習会付。</p> <p>3 メインフィールドは乗鞍岳、常念・蝶ヶ岳、鉢盛山。普段学校から見える地元の山を楽しみながら山歩き。児童&amp;生徒主体の登山計画からお手伝いいたします。</p> <p>4 地元梓川領域をより理解し、身近に感じてもらう座学（スライドショー）。これをきっかけに、実際の川&amp;山に活動の幅を広げてみては如何でしょうか？</p> 
対象学年（年齢）	小学校1年生より大人まで（プログラムによる）
時間数	最短1時間～泊まり込みプログラムまで対応可能
講師人数	子ども10人に対し、1人の指導者 *いずれもプログラム内容、フィールドにより変動あり
費用	<p>【講師謝礼】講師1名に5,000円（授業1回分毎）内容により変動有</p> <p>【その他】保険料(1人100円～) レンタル器材等（1人100円～）内容により変動有</p>
学校側で必要な準備	申込時、事前の打合せを通じて別途相談
講師からの持込資材等	申込時、事前の打合せを通じて別途相談
講師について	<p>2014年12月に松本市安曇に産声を上げたアウトドアガイド&amp;ツアー会社。登山ガイド、沢登り、ラフティング、スノーシューなどのアクティビティーを中心に、各種安全講習会、子ども冒険キャンプ、クリーンアップ梓川などの地域貢献活動などと、松本の大自然を春夏秋冬365日全身で感じられるプログラムを展開中。ガイド&amp;ツアーコンセプトは「風流であれ！アナログであれ！！」。松本を愛する個性豊かなメンバーでお待ちしております。</p>
開催実績	<p>平成28年度 波田小学校 梓川リバーアドベンチャー</p> <p>平成29年度 安曇小学校 黒川&amp;梓川リバーアドベンチャー</p> <p>田川小学校 犀川&amp;奈良井川ラフティング</p>
講師連絡先	<p>【団体名】合同会社リトルピークス</p> <p>【担当者名】小峰 邦良</p> <p>【TEL】0263-93-1243</p> <p>【FAX】0263-93-1243</p> <p>【Eメール】ine@littlepeaks.jp</p> <p>【HP】http://www.littlepeaks.jp</p> <p>【住所】〒390-1513 松本市安曇 4306-7</p>
申込み方法	<p>申込書を上記 <b>FAX</b> に送付してください。その後、学校指導課担当者にも送付してください。その後、学校から講師へ連絡をとり、事前打合せの日程を決めて、事業を開始してください。</p>

【分類： 自然体験、環境知識】


講座名称	<b>1 むかくどご飯炊き体験</b> <b>2 地域発見ウォーキング</b> <span style="float: right;">(講座 No. 4)</span>
支援事業内容	<p>1 むかくどご飯炊き体験 昔ながらの「むかくど釜」でご飯を炊き、美味しいお米を味わっていただけます。「むかくど釜」は、昭和初期に農家で使用されていた「ぬか」＝「もみ殻」を使った釜で、紙芝居にて概要を説明します。 ※3釜持参可能（おにぎり約70個/釜）</p> <p>2 地域発見ウォーキング 安曇野市内の屋敷林、拾ヶ堰、道祖神等の原風景が残る地域を、クイズ等を楽しみながら案内します。</p> 
対象学年（年齢）	小学校3年生以上
時間数	2時間分程度
講師人数	子ども30人に対して2人の講師
費用	<b>【講師謝礼】</b> 講師1名につき5,000円（授業1回毎） <b>【その他】</b> お米代、資料代等 必要
学校側で必要な準備	申込時・事前の打合せを通じて別途相談
講師からの持込資材等	
講師について	<p>Iターン者と地域住民との交流による新しいふるさとづくりを目指して、平成18年に設立したNPO法人です。平成19年度から自然、歴史、文化を学びながら歩く「ふるさとウォッチング」「安曇野さんぽ」を年10回程度開催し、過去のルート図を「ふるさとウォッチングマップ」としてまとめ、公式サイトで公開しています。また、平成27年度に地域ガイド育成講座「案内人の教室」をスタートし、県や国営公園と連携して人材育成に取り組んでいます。</p>
開催実績	むかくどご飯炊き体験 平成27年度 会田中学校・二子小学校 平成28年度 会田中学校・二子小学校 平成29年度 会田中学校・二子小学校
その他	
講師連絡先	<b>【団体名】</b> NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団 <b>【担当者名】</b> 宮崎 崇徳 <b>【代表者名】</b> 等々力 秀和 <b>【TEL】</b> 0263-81-1325（9-18時なら連絡可能） <b>【FAX】</b> 0263-81-1280 <b>【Eメール】</b> lifeport@nifty.com <b>【HP】</b> <a href="http://azumino-furusato.com/">http://azumino-furusato.com/</a> <b>【住所】</b> 〒399-8304 安曇野市穂高柏原 1132-2
申込み方法	申込書を上記Eメール又はFAXに送付してください。その後、学校指導課担当者にも送付してください。その後、学校から講師へ連絡をとり、事前打合せの日程を決めて、事業を開始してください。

【分類：自然体験、環境知識、生活力】


講座名称	<p>1 いきもの探しと観察及び環境教育講座 (講座 No. 5)</p> <p>2 プランター菜園講座</p> <p>3 精米工場の見学と、お米の作り方、流通、循環について学ぶ</p> <p>4 田んぼの生き物と豊かな農地を学ぶ</p>
支援事業内容	<p>年間を通じてお米の肌ヌカ(米の精)を使用した農法の実演と体験により、土壌を豊かにする健康な作物作りと生きもの溢れる農地作りを行い、その場所を環境学習に使用しています。</p> <p>作物を育てるもの、生き物を観察する活動は5月～9月が活動時期の目安です。精米工場の見学は年中できます。学校や近隣に出向き、農業体験(上記2など)や自然体験などの講座を実施することも可能です。</p>  
対象学年(年齢)	学年に合わせた授業を行うので要相談
時間数	90分目安(相談に応じて対応可能)
講師人数	<p>1、3、4は子ども30人に対し最低2人の講師</p> <p>2は、子ども30人に対し最低1人の講師</p>
費用	<p>【講師謝礼】講師1名に5,000円(授業1回分毎)</p> <p>【その他】講師交通費は打ち合わせと当日で2,000円目安ありとありがたいです。</p> <p>2 プランター、苗代、肥料代等別途実費がかかります。</p>
学校側で必要な準備	申込時・事前の打合せを通じて別途相談
講師からの持込資材等	<p>米の精(肥料)</p> <p>簡単な循環型農業に関する資料</p> <p>自然体験活動や環境教育に必要なテキスト・資料・グッズ</p>
講師について	環境を保全しつつ、有機循環型農業を地域で実現するために発足した、産・官・学・民協働の環境教育協議会です。講師は協議会の活動それぞれの分野に長けた者が複数名います。
開催実績	<p>平成29年度 いきものみつけファーム in 松本 (寿地区の田んぼで通年開催、市内全域から参加あり)</p> <p>菅野小学校 下記3テーマで生き物探しと観察を行った。</p> <p>①自然体験レクレーション ②水辺と草むらの生き物</p>
その他	春～秋のシーズンが開催に適しています。冬の場合はいきもの観察や農業体験系の活動はあまりできないので環境教育系になります。
講師連絡先	<p>【団体名】いきものみつけファーム in 松本推進協議会</p> <p>【担当者名】藤村 哲 【代表者名】降籬 一路</p> <p>【TEL】090-2219-2457</p> <p>【FAX】0263-88-7595</p> <p>【Eメール】ts_kakehashi@yahoo.co.jp</p> <p>【HP】http://www.ikimonomikke-farm.com/</p> <p>【住所】〒399-0011 松本市寿北9-7-17</p>
申込み方法	申込書を上記電話番号に送付してください。その後、学校指導課担当者にも送付してください。その後、学校から講師へ連絡を取り、事前打合せの日程を決めて、事業を開始してください。




【分類：環境知識】

講座名称	ツキノワグマの生態を知ろう (講座 No. 6)
支援事業内容	<p>講師を派遣し学校近隣（校内を含む）で行う学習支援</p> <p>パワーポイントを用いた講義（クマの生態、出会った時の対処法等）</p> 
対象学年（年齢）	全学年可
時間数	1コマ（45分～90分）
講師人数	子ども100人に対して講師2人必要
費用	【講師謝礼】講師1名につき5,000円（授業1回毎） 【その他】なし
学校側で必要な準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクリーン</li> <li>・プロジェクター</li> </ul>
講師からの持込資材等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン</li> <li>・トランクキット（クマの毛皮、頭骨等）、クマの着ぐるみ</li> </ul>
講師について	ツキノワグマの生息環境の保護保全を図り、野生動物と人間の共存を実現することを目的として、20年以上に渡り、ツキノワグマの生態研究および保護管理の活動を行っています。授業は、実際にツキノワグマの研究を行うメンバーが実施します。
開催実績	平成27年度 安曇小中学校 ツキノワグマの生態を知ろう 平成28年度 奈川小学校 ツキノワグマの生態を知ろう
その他	
講師連絡先	<p>【団体名】NPO法人 信州ツキノワグマ研究会</p> <p>【担当者名】浜口あかり 【代表者名】岸元良輔</p> <p>【TEL】0263-36-1884（不在が多いため、他の方法でご連絡ください）</p> <p>【FAX】0263-36-1884</p> <p>【Eメール】kumaken_shinshu@yahoo.co.jp</p> <p>【HP】<a href="http://www.geocities.jp/shinshukumaken/">http://www.geocities.jp/shinshukumaken/</a></p> <p>【住所】〒390-0876 松本市開智 2-9-8</p>
申込み方法	申込書を上記Eメールに送付してください。その後、学校指導課担当者にも送付してください。その後、学校から講師へ連絡をとり、事前打合せの日程を決めて、事業を開始してください。



【分類：自然体験、環境知識】

講座名称	水辺の生物の観察会 (講座 No. 7)	
<p>支援事業内容</p>	<p>市内の河川などにいる水生生物の採取と観察を行います。 実際に川に行き、水生生物の採集を行い、水生生物の種類ごとに分類する等、観察方法を学び、川の面白さについて実感する講座です。</p> <p>【これまでに実施した学習会のテーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本人の川と水への意識</li> <li>・アルプスの水がもたらす恵みと課題</li> <li>・里地・里山の森と暮らしと水</li> <li>・千曲川水系における水生昆虫類の個体群構造と遺伝的構造</li> <li>・松本、伊那盆地におけるトノサマガエル・ダルマガエルの分布と交雑について</li> <li>・河川繁殖する鳥類への増水の影響と役割</li> <li>・トンボ類からみた日本と台湾の繋がり</li> <li>・父親が子育てをするコオイムシ科昆虫の繁殖生態と系統進化・種分化について</li> <li>・安曇野の魚と人とのかかわり</li> </ul>	
対象学年（年齢）	全学年（学年に合わせた授業を行います）	
時間数	3時間程度	
講師人数	子ども10人に対して講師1人必要	
費用	<p>【講師謝礼】講師1名につき5,000円（授業1回毎）          【その他】材料費 開催内容による（事前の相談で決定）</p>	
学校側で必要な準備	事前講義（安全等）、網、内面が白色のプラスチック皿、ピンセット、虫めがね（10～20倍）、バケツ、ノート（スケッチ用紙）	
講師からの持込資材等	網類、バット、ピンセット	
講師について	身近な川を調べ、地域文化との関係や生き物のすみかとして成立ちを考え、今後の川の姿に関して提言するNPO法人です。	
開催実績	<p>平成27年度 平成28年度 平成29年度 田川小学校          ①奈良井川脇の湧水に行き、水中生物を探す。          ②学校に戻り、捕まえた水中生物をルーペ等で観察する。          ③水中生物の記録の書き方を講師から習い、絵と文で記録する。</p> <p>平成28年度 信州大学教育学部附属松本小学校          年間を通して定期的に女鳥羽川を散策してきた子どもたちが、講師の先生から川の生物の解説を聞いたり、川の生物の見つけ方を教わったりする事を通して、女鳥羽川への関心を更に高めた。</p>	
その他		
講師連絡先	<p>【団体名】NPO法人 川の自然と文化研究所          【担当者名】山本雅道 【代表者名】吉田利男          【TEL】090-5413-7161          【FAX】0263-37-3327          【Eメール】bassyam@shinshu-u.ac.jp</p>	
申込み方法	申込書を上記FAXに送付してください。その後、学校指導課担当者にも送付してください。その後、学校から講師へ連絡を取り、事前打合せの日程を決めて、事業を開始してください。	

【分類：環境知識】



講座名称	<p>1 やさしい放射線の実験教室 (講座 No. 8)</p> <p>2 水はどこから？</p>
支援事業内容	<p>1 放射線は自然に存在し、正しい管理のもとで利用されることで人の役に立つこと、また、原子力発電所事故を受けて、これからのエネルギーについて考えるきっかけになればと思います。普段目に見えない放射線の飛んだ軌跡を簡単に観察でき、簡単な測定器を使って外の放射線量やその場の放射線量を測定します。</p> <p>2 海や川の水が蒸発して雲になり、雨となって地上に落ちてきて、また海に流れるという循環が、地球が誕生して何億年も前から繰り返され、これからも続いていくはず。だから、未来の人たちのためにも大切に、汚さないように使わなければならないことを実感できたらと思います。</p> <p>また、3種類の水を用意して、きき水を体験してもらいます。日本の水とヨーロッパの水の味の違いを体験して、どうしてこの味の違いが出るのかを試験します。</p> 
対象学年（年齢）	小学校1年生～中学3年生まで学年に合わせて
時間数	2時間（応相談）
講師人数	<p>1 子ども 40人に対して講師1人必要</p> <p>2 子ども 40人に対して講師2人必要</p>
費用	<p>【講師謝礼】講師1名につき5,000円（授業1回毎）</p> <p>【その他】</p>
学校側で必要な準備	スクリーン、プロジェクター
講師からの持込資材等	実験道具一式、パソコン
講師について	松本市内で40年間、環境分析を行ってきている会社です。環境問題がクローズアップされる昨今、理科実験と環境問題を組み合わせて、難しくとらえられがちな化学物質などを、わかりやすく解説したいと考えています。
開催実績	<p>1 平成27年度会田中学校</p> <p>2 平成27年 波田小学校</p> <p>平成28年 田川小学校</p> <p>平成29年 安曇小学校</p>
その他	
講師連絡先	<p>【団体名】株式会社 環境技術センター 【代表者名】勝野 宗一</p> <p>【担当者名】宮澤 恵美</p> <p>【TEL】0263-27-1606（受付時間：8:40～17:10）</p> <p>【FAX】0263-27-2133</p> <p>【Eメール】miyazawa.m@kgcenter.co.jp</p> <p>【HP】http://www.kgcenter.co.jp</p> <p>【住所】〒399-0033 松本市大字笹賀 5652-166</p>
申込み方法	申込書を上記FAXに送付してください。その後、学校指導課担当者にも送付してください。その後、学校から講師へ連絡を取り、事前打合せの日程を決めて、事業を開始してください。

【分類：環境知識】


講座名称	<p>1 地球環境問題・地球温暖化問題と自然エネルギーを学ぶ</p> <p>2 竹筒と蜜ろうを使ったキャンドルづくり</p> <p>3 小水力発電機による自然エネルギー体験 (講座 No. 9)</p>
支援事業内容	<p>1 気象予報士が、宇宙や歴史から見た地球環境や気候変動（地球温暖化）をとおして、身近な環境問題（自然災害と防災・省エネ・ごみ・食料問題・自然エネルギー等）についてお話しするほか、自然エネルギー機器等や教材を使いわかりやすく伝えます。</p> <p>2 竹筒を自分たちで加工して装飾し、蜜ろうを使ったキャンドルを作ります。キャンドルは地球温暖化防止を啓発するキャンドルナイトイベント（6月：松本市美術館、12月：松本駅前）で大々的に飾り、イベントに華を添えていただきます。</p> <p>3 可搬式の小水力発電機を使って、実際の水力発電の仕組みを体験して学ぶほか、ソーラーカー、発電自転車体験を行います。</p>  
対象学年（年齢）	小学校高学年～中学生
時間数	1 要相談      2 2～3時間程度      3 1時間程度
講師人数	子ども10人に講師1～2人必要
費用	<p>【講師謝礼】講師1名につき5,000円（授業1回毎）</p> <p>【その他】材料費（開催内容による）</p>
学校側で必要な準備	<p>1 プロジェクター、スクリーン</p> <p>2 実施場所として工作室</p> <p>3 校内の流水（落差）がある箇所</p>
講師からの持込資材等	<p>1 パソコンなど</p> <p>2 電動ドリル、鋸、ホットボンド等の工具類</p> <p>3 可搬式小水力発電機、ソーラーカー、発電自転車</p>
講師について	市内13団体で構成するネットワークです。それぞれの環境保全活動の持ち味を活かし、「キャンドルナイトまつもと（6月、12月）」「打ち水大作戦（8月）」等の活動を行っています。
開催実績	平成28年度、29年度 鎌田小学校（竹筒と蜜ろうを使ったキャンドルづくり）キャンドルづくりワークショップ、自然エネルギー講座（松本市環境学習講座(エコスクール)講師)
その他	
講師連絡先	<p>【団体名】松本市地球温暖化防止市民ネットワーク(エコネットまつもと)</p> <p>【担当者名】鈴木喜一郎      【代表者名】宮澤 信</p> <p>【TEL】0263-57-5460</p> <p>【FAX】0263-57-5460</p>
申込み方法	申込書を上記 <b>FAX</b> に送付してください。その後、学校指導課担当者にも送付してください。その後、学校から講師へ連絡をとり、事前打合せの日程を決めて、事業を開始してください。



【分類：生活力】

講座名称	裁縫作業指導（マイ箸収納用袋制作） (講座 No. 10)
支援事業内容	<p>マイ箸収納用袋の制作指導 マイ箸づくりで作った箸を収納するための袋を自作する際の指導講習を行います。</p>  
対象学年（年齢）	小学校中学年以上（家庭科の授業開始後が望ましい）
時間数	2時間程度必要
講師人数	子ども10人に対して講師1人必要
費用	【講師謝礼】講師1名につき5,000円（授業1回毎） 【その他】
学校側で必要な準備	布等の材料
講師からの持込資材等	マイ箸袋のサンプル
講師について	市内在住のボランティアが箸袋を自作する際の指導を行います。
開催実績	平成27年度 島立小学校・信州大学教育学部附属松本小学校 平成28年度 鎌田小学校 平成29年度 信州大学教育学部附属松本小学校
その他	
講師連絡先	<p>【団体名】松本市社会福祉協議会ボランティアセンター          【代表者名】渡辺 聡           【担当者名】百瀬          【TEL】0263-25-7345（9時以降なら連絡可能）          【FAX】0263-27-2239          【Eメール】vol@syakyo-matsumoto.or.jp          【住所】〒390-0833 松本市双葉4番16号</p>
申込み方法	申込書を上記 <b>FAX</b> に送付してください。その後、学校指導課担当者にも送付してください。その後、学校から講師へ連絡をとり、事前打合せの日程を決めて、事業を開始してください。

【分類：自然体験、環境知識】

講座名称	<p>1 あかりのエコ教室 (講座 No. 1 1)</p> <p>2 エコと太陽光発電教室</p>
支援事業内容	<p>地球温暖化による環境変化、地球温暖化防止に効果のある家電製品の省エネルギー化等について学習します。</p> <p>1 あかりのエコ教室 従来の白熱電球、電球型蛍光灯、LED電球の比較と実験を通じて違いを知る。省エネの効果の内容について学習する。</p> <p>2 エコと太陽光発電教室 一般的な発電方法と再生エネルギーの中で、太陽光を利用した発電方法の実験を通じ、太陽電池の性質の内容について学習する。</p> 
対象学年（年齢）	小学校4年生以上
時間数	2時限
講師人数	子ども40人に講師3名
費用	<p>【講師謝礼】無料</p> <p>【その他】無料</p>
学校側で必要な準備	スクリーンもしくはモニターTV プロジェクター
講師からの持込資材等	<p>・実験道具（4～5人で1台）</p> <p>※あかりのエコ教室では測定機器、手回し発電機</p>
講師について	特になし
開催実績	<p>平成27年 波田小学校6年</p> <p>平成28年 安曇小学校5・6年 「あかりのエコ教室」</p> <p>平成29年 鎌田小学校5年・清水小学校4年「あかりのエコ教室」</p>
その他	プログラム実施の3カ月前には申込の連絡をお願いします。
講師連絡先	<p>【団体名】 パナソニック(株)エコソリューションズ社 松本電材営業所</p> <p>【担当者名】 丸山</p> <p>【TEL】 0263-27-4501</p> <p>【FAX】 0263-27-4509</p> <p>【Eメール】 maruyama.kiyo@jp.panasonic.com</p> <p>【HP】 <a href="http://panasonic.co.jp/es/">http://panasonic.co.jp/es/</a></p> <p>【住所】 〒399-0004 松本市市場3-10</p>
申込み方法	申込書を上記Eメールに送付してください。その後、学校指導課担当者にも送付してください。その後、学校から講師へ連絡をとり、事前打合せの日程を決めて、事業を開始してください。

【分類：環境知識、生活力】


講座名称	<p>1 木の授業とバウムクーヘン作り (講座 No. 1 2)</p> <p>2 木材の活用法</p>
支援事業内容	<p>1 竹や廃材などを活用して行う野外活動です。木の年輪などの話をしてから、炭火を使って材料からバウムクーヘンを作ります。</p>  <p>2 間伐による里山の保全、間伐材の活用について学習しながら、木工工作を行います。木の持つ魅力や種類の違いなどを五感で感じて、自ら創造する活動です。また、山林での森林整備体験なども行います。(応相談)</p> 
対象学年(年齢)	小学校4年生以上
時間数	2時間程度
講師人数	<p>1 子ども15人位に講師1名</p> <p>2 子ども6～8人に講師1名</p>
費用	<p>【講師謝礼】講師1名に5,000円(授業1回分毎)</p> <p>【その他】1 4,000円/約15人分</p> <p>2 開催内容による(事前の相談で決定)</p>
学校側で必要な準備	<p>1 長机数台</p> <p>2 木工教室の場合、木工室等の会場</p>
講師からの持込資材等	<p>1 レシピ等の資料、竹の棒などの資材、機材一式</p> <p>2 木工に必要な木材、機材一式</p>
講師について	平成13年に設立し、寿地区の財産区有林の整備作業と地域の学校での環境教育などを実施しています。会員数65名。
開催実績	<p>1 平成27年度 波田小学校、二子小学校、会田中学校</p> <p>平成28年度 鎌田小学校、二子小学校</p> <p>平成29年度 今井小学校、二子小学校、四賀小学校、鎌田小学校、会田小学校(計6件)</p> <p>2 平成27年度 鎌田小学校、会田中学校(森林整備指導)</p> <p>平成28年度 島立小学校、二子小学校、会田中学校、菅野小学校</p> <p>平成29年度 島内小</p>
その他	
講師連絡先	<p>【団体名】寿さと山くらぶ</p> <p>【担当者名】鈴木喜一郎</p> <p>【TEL】0263-57-5460</p> <p>【FAX】0263-57-5460</p>
申込み方法	申込書を上記FAXに送付してください。その後、学校指導課担当者にも送付してください。その後、学校から講師へ連絡をとり、事前打合せの日程を決めて、事業を開始してください。

【分類：自然体験、環境知識】

講座名称	緑のカーテン設置指導 (講座 No. 13)
<p>支援事業内容</p>	<p>低学年…紙芝居又はパワーポイントでカーテン設置の意味や効果、種の植え方、後の管理方法を解説します。(1時限)                      高学年、中学生…希望によりますが、パワーポイントで地球温暖化の現状や将来を解説し、問題の意識付けをします。そのうえで、緑のカーテンの効用や維持管理の方法を解説します。</p> 
<p>対象学年(年齢)</p>	<p>小学校以上(学年に合わせた授業を行います。)</p>
<p>時間数</p>	<p>小学校低学年=1時限、小学校高学年以上=2時限(応相談)</p>
<p>講師人数</p>	<p>子ども120人に講師1名</p>
<p>費用</p>	<p>【講師謝礼】講師1名に5,000円(授業1回分毎)                      ※学年全体で同一日時を実施する場合、学級数分の合計を負担していただきます。(例:1学年3学級で実施→@5000円×3学級分=15,000円)                      【その他】土壌改良を希望される場合は、別途費用がかかります。</p>
<p>学校側で必要な準備</p>	<p>設置場所の確保                      設置場所の耕し、施肥                      ※可能な限り地植えを推奨します。                      プランターでは生育不足となり、期待する効果が得られません。                      ※夏休み前までの生育を促すために、5月中の実施を推奨します。</p>
<p>講師からの持込資材等</p>	<p>・種子、苗                      ・紙芝居、パワーポイントによる温暖化防止学習資料                      ・ネット、竹枠                      ※ネット張り作業は事前に行います。(別日程で行います。)</p>
<p>講師について</p>	<p>松本市内で造園業を営む17業者の集まりです。緑化工事・維持管理を中心に、地域の環境保全を目指しています。</p>
<p>開催実績</p>	<p>緑のカーテン設置補助                      平成27年度=12校、平成28年度=10校、平成29年度=10校</p>
<p>その他</p>	
<p>講師連絡先</p>	<p>【団体名】松本市緑化協会                      【担当者名】(株)奥原造園 奥原正司                      【TEL】0263-48-3100                      【FAX】0263-48-3010                      【Eメール】oku-zou@avis.ne.jp</p>
<p>申込み方法</p>	<p>申込書を上記FAXに送付してください。その後、学校指導課担当者にも送付してください。その後、学校から講師へ連絡をとり、事前打合せの日程を決めて、事業を開始してください。</p>



【分類：自然体験、環境知識】

講座名称	<p>1 身近な自然観察（四季折々を楽しみながら）（講座 No. 1 4）                  2 水辺（小川）の自然観察・まちなかの自然観察                  3 外来植物（外来生物）って何？</p>
支援事業内容	<p>自然の楽しみ方、自然と人や動物と植物のつながりなど、自然保護や環境保全の考え方を学年に応じ、自然観察から学びとります。                  必要に応じて、フィールドに出る前あるいは後に、教室内でのレクチャーを希望される場合は対応いたします。別の日程で組んでいただくことも可能です。</p> 
対象学年（年齢）	小学生以上、学年に応じた授業内容を相談しながら内容決定
時間数	1回で2～3時間程度必要
講師人数	子ども15人に対して講師1人必要（先生と協力して1クラス程度まで）
費用	<p>【講師謝礼】講師1名につき5,000円（授業1回毎）                  【その他】特になし</p>
学校側で必要な準備	申込時・事前の打合せを通じて別途相談
講師からの持込資材等	
講師について	<p>1996年、自然を学び環境を考える仲間と会をつくる。「自然観察から始まる自然保護」を目指して、自然観察会やボランティア活動などを実践。自然と人、動物、植物などのつながりや気付きから、自然保護、環境保全へと展開する環境学習を、大人や子どもと共に学び合っている。</p>
開催実績	<p>平成27年度 今井小学校 自然観察からはじまる自然保護の実践                  平成28年度 今井小学校 学習林にて、身近な自然観察                  平成29年度 今井小学校 学習林にて、身近な自然観察</p>
その他	上高地P.V.での中学校自然観察ガイド、市内地区公民館での自然観察ガイドなど
講師連絡先	<p>【団体名】自然観察の会 ひこばえ 【代表者名】村上さよ子                  【担当者名】村上さよ子                  【TEL】0263-26-1573                  【FAX】同上                  【住所】〒390-0847 松本市笹部3-11-3</p>
申込み方法	<p>申込書を上記 <b>FAX</b> に送付してください。その後、学校指導課担当者にも送付してください。その後、学校から講師へ連絡を取り、事前打合せの日程を決めて、事業を開始してください。</p>



【分類：自然体験、環境知識、生活力】

講座名称	体感プログラムを中心とした自然体験学習 (講座 No. 15)
支援事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 火熾しと簡単な野外料理、キャンプファイヤーのやり方</li> <li>2 身近な自然を感じ取り、学習につなげる活動</li> <li>3 野生生物について学ぶ～プロジェクトワイルド (体験型授業)</li> <li>4 水について体験から学ぶ～プロジェクトウェット (体験型授業)</li> <li>5 森林について体験から学ぶ～プロジェクト・ラーニング・ツリー</li> </ol> 
対象学年 (年齢)	小学校 1～2 年生：プロジェクトワイルド/ネイチャーゲーム 小学校 3 年生以上～中学校：上記含む提示したすべてのプログラム
時間数	基本は 2 時限分 (80～90 分) ～ 3 限分 (120 分) ※移動時間含まず遠隔地や校外学習などは別途相談
講師人数	児童・生徒 30 人に対して 2～3 人の講師
費用	【講師謝礼】講師 1 名につき 5,000 円 (授業 1 回毎) 【その他】
学校側で必要な準備	プログラムの用具は一部準備しますが、材料 (消耗品) は学校 (または児童・生徒) で用意していただくこともあります。安全のため児童・生徒に事前に持ち物・服装を案内します (雨具・軍手など)
講師からの持込資材等	教本・教材など
講師について	スタッフは自然体験活動指導者としての講習会を修了。(NEAL リーダー、文部科学省認定自然体験活動全体指導者) 他、CONE コーディネーター、トレーナー在籍。プロジェクトワイルド、プロジェクトウェットなど指導者として登録。
開催実績	平成 27 年度 源池小学校、会田中学校 平成 28 年度 菅野小学校 平成 29 年度 菅野小学校、田川小学校
その他	
講師連絡先	【団体名】 体験創庫かけはし      【代表者名】 藤村哲 【担当者名】 藤村哲 【TEL】 090-2219-2457 【FAX】 0263-88-7595 【Eメール】 ts_kakehashi@yahoo.co.jp 【住所】 〒390-1401 松本市波田 4507-3
申込み方法	申込書を上記 E メールに送付してください。その後、学校指導課担当者にも送付してください。その後、学校から講師へ連絡をとり、事前打合せの日程を決めて、事業を開始してください。

【分類：自然体験、生活力】


講座名称	体感&体感! 自然体験学習!! (講座 No. 16)
支援事業内容	<p>1 火起こし教室～舞切り式、新聞を使わない方法、火の育て方等                  2 燻製教室、保存食の知恵 (校内可)                  3 カモフラージュ・同じモノ見つけ他ネイチャーゲームプログラム                  4 木の実・木の葉当てクイズ                  5 木育体験…森のかけらのお守り作り                  6 その他松枯れ、湧水等地域探検、自然観察</p> 
対象学年 (年齢)	<p>小学校 1～2 年生：燻製教室、ネイチャーゲーム                  小学校 3 年生以上：上記含む提示したすべてのプログラム</p>
時間数	<p>基本は 2 時限分 (80～90 分) ～ 3 限分 (120 分)                  ※移動時間含まず遠隔地や校外学習可、別途ご相談</p>
講師人数	<p>生徒 30 人に対して 3～4 人の講師</p>
費用	<p>【講師謝礼】講師 1 名につき 5,000 円 (授業 1 回毎)                  【その他】材料費等は別途 (内容により異なります)</p>
学校側で必要な準備	<p>プログラムの用具は一部準備しますが、まずは相談させてください。材料 (消耗品) は学校 (または児童・生徒) で用意していただくこともあります。安全のため児童・生徒に事前に持ち物・服装を案内します。(雨具・軍手など)</p>
講師からの持込資材等	<p>火起こし用具のセット、燻製用具のセット、教材、ネイチャーゲーム機材など</p>
講師について	<p>四賀地区中川の、廃校小学校 (旧中川小学校) 活用について、平成 25 年松本市が募集したプロポーザル事業へ応募を行い採択されました。平成 26 年 4 月より活動試行、①おもちゃの楽校①野外体験③チームビルディングを主とし、平成 27 年から運営を行っています。公民館、児童会の主催する自然体験学習プログラムの実施、小学校の総合学習支援参加、民間運営の日帰りキャンプ支援等に参加しています。また、県内の野外体験活動団体等のネットワーク、信州外あそびネットワークに加盟しています。</p>
開催実績	<p>平成 27 年度 源池小学校 燻製体験試食、ネイチャーゲーム                  平成 28 年度 会田中学校 火おこし体験、ネイチャーゲーム                  平成 29 年度 島内小学校 人と火の繋がり～燻製体験試食、ネイチャーゲーム                  松塩筑小学校教育課程研究協議会生活科                  ～教職員対象・生活科お役立ち演習～講師他</p>
その他	
講師連絡先	<p>【団体名】信州やがいたいけん楽校ぶらす                  【担当者名】降幡光幸 【代表者名】降幡光幸                  【TEL】080-8041-7937 (随時連絡可能)                  【FAX】0263-87-2038                  【Eメール】furihata@yt-plus.com                  【HP】http://yt-plus.com/ 【ブログ】http://yt-plus.blogspot.jp/                  【住所】〒390-0315 松本市岡田町 630-6</p>
申込み方法	<p>申込書を上記 FAX に送付してください。その後、学校指導課担当者にも送付してください。その後、学校から講師へ連絡をとり、事前打合せの日程を決めて、事業を開始してください。</p>

【分類：環境知識、生活力】

講座名称	<b>1 木質バイオマスエネルギー利用方法</b> <b>2 地球温暖化防止・SDGs</b> <span style="float: right;">(講座 No. 17)</span>
支援事業内容	<p>1 木質バイオマス活用の重要性についての説明と、活用方法の実演及び体験          ロケットストーブやウッドガスストーブなどを使って、松ぼっくりや木の枝、竹などの木質バイオマスからエネルギーを取り出す体験をします。</p> <p>2 地球温暖化防止を中心とした環境問題あるいはSDGsに関する環境教育</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
対象学年（年齢）	小学5年生以上
時間数	2時間～3時間程度
講師人数	子ども30人に対して講師1人必要（体験型の場合は10人に1人）
費用	<b>【講師謝礼】</b> 講師1名につき5,000円（授業1回毎） <b>【その他】</b> 炊飯を伴う場合は実費
学校側で必要な準備	1 火を使っても大丈夫な場所の確保
講師からの持込資材等	体験用の機材一式
講師について	2012年2月設立の任意団体です。「地域にあるものをいかした暮らし」の追求をポリシーとして活動しています。
開催実績	会田中学校 木質バイオマス活用 清水小学校 防災とバイオマス
その他	プログラム実施の2カ月前には、申込の連絡をしてください。
講師連絡先	<b>【団体名】</b> 自然エネルギーネットまつもと <b>【担当者名】</b> 平島安人 <b>【代表者名】</b> 平島安人 <b>【TEL】</b> 0266-52-0160（留守電） <b>【FAX】</b> 0266-52-0160 <b>【Eメール】</b> nematsu@gmail.com <b>【HP】</b> <a href="http://www.enet-matsumoto.net">http://www.enet-matsumoto.net</a> <b>【住所】</b> 〒392-0023 諏訪市小和田南9-3
申込み方法	申込書を上記 <b>FAX</b> に送付してください。その後、学校指導課担当者にも送付してください。その後、学校から講師へ連絡を取り、事前打合せの日程を決めて、事業を開始してください。



【分類：自然体験、環境知識】

講座名称	水辺の観察会 <span style="float: right;">(講座 No. 18)</span>
支援事業内容	<p>○水辺の生物観察の指導を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生物採取の方法を指導し、採取した生物の名称やどんな生き物かを解説します。</li> <li>・水生生物の生息状況と、透視度やCODなどの化学的測定をあわせて行い、河川の汚染を解説します。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: flex-end; align-items: center;">  </div>
対象学年（年齢）	小学校1年生～6年生（学年に合わせた授業を行います。）
時間数	1～1.5時間
講師人数	子ども20人に講師1名
費用	【講師謝礼】講師1名につき5,000円（授業1回毎） 【その他】
学校側で必要な準備	水辺観察会の手引書（カラーコピーでも可）
講師からの持込資材等	バケツ、バット、手網、透視度計、他
講師について	水辺の自然環境の調査、環境学習、国際協力を実施する団体で主に梓川や松本地域で活動しています。
開催実績	梓川での水辺学習会 田んぼでの生きもの観察会
その他	
講師連絡先	<p>【団体名】NPO法人 えんどっこ          【担当者名】大月健二          【TEL】090-4463-5887          【HP】<a href="http://endotuko.com/">http://endotuko.com/</a></p>
申込み方法	申込書を上記電話番号に送付してください。その後、学校指導課担当者にも送付してください。その後、学校から講師へ連絡をとり、事前打合せの日程を決めて、事業を開始してください。


【分類：自然体験、環境知識、生活力】

講座名称	リサイクル・リユースについてのワークショップ (講座 No. 19)
支援事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童や家族が使わなくなったり、着られなくなったものをリメイクしたり再利用したりするワークショップ</li> <li>・環境の3Rについて、児童向けの市環境書籍紹介なども交えて、リサイクルやリユースの実情について学ぶ。</li> <li>・再利用の推進について、こどもたちとアイデアを出し合うワークショップなど</li> <li>・団体で支援しているアジアのカンボジアやフィリピンの小学生や児童の様子について映像などで学び、自らの生活の中で「不要になったもの」を廃棄物でなく「資源」としてとらえることで、未来の環境負荷を軽減することの大切さについて気付いてもらう。不要になった文房具などを家庭や友人などに呼び掛けて、集め、実際に梱包して現地に発送するまでを体験する。</li> </ul>
対象学年(年齢)	小学校高学年～中学生
時間数	2時間×2回くらいが望ましい。(連続可)
講師人数	子ども30人に対して講師1～3人必要
費用	<p>【講師謝礼】講師1名につき5,000円(授業1回毎)</p> <p>【その他】(材料費等、必要物品)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料作成の印刷代、講師の交通費実費など</li> <li>・平面コラージュなどを行う場合には画用紙など</li> <li>・グループワーク用には模造紙と付箋など</li> </ul>
学校側で必要な準備	DVD視聴用の視聴覚設備、裁縫道具、鋏、糊など
講師からの持込資材等	視聴用映像ソフト、参考図書、写真、材料など
講師について	<p>再利用推進活動を文化活動かしてとらえ、実践して30年。団体は平成14年発足。生活者自身がリユース、市民交流、福祉支援、まちの賑わいづくりを4つの趣意として、消費者のリユースフリーマーケット活動を年間40開催、リユースで回収した物品で海外の児童教育支援をする活動、福祉活動やボランティア活動、市民活動などの企画や工法の支援も行っています。</p>
開催実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カンボジアの小学校へのリユース楽器の回収、メンテナンス、座学から発送までを現地小学校三年生、寿台児童館、学童クラブ等で開催。</li> <li>・市内の児童館を運営するNPO法人と協働で、各児童館の児童が、ペットボトルなどリメイクして作った作品を持ち寄り、先生たちと「リユースバザー」を行って震災で被災した門脇小学校の支援イベントを寿台児童館にて実施他。</li> </ul>
講師連絡先	<p>【団体名】フリマネット信州</p> <p>【担当者名】立石恵子</p> <p>【TEL】090-9664-5510</p> <p>【FAX】0263-55-4451</p> <p>【Eメール】furimanet@yahoo.co.jp</p> <p>【HP】http://furimanet.com/</p>
申込み方法	<p>申込書を上記電話番号に送付してください。その後、学校指導課担当者にも送付してください。その後、学校から講師へ連絡をとり、事前打合せの日程を決めて、事業を開始してください。</p>

【分類：自然体験、環境知識】


講座名称	<p>1 【講演】今、自然を大切にすることがなぜ大切か？（講座 No. 20）                  2 【実習】生きもの観察</p>
支援事業内容	<p>今、自然を大切にすることがなぜ重要か？を子供たちに分かりやすく、なるほどと思えるように解説します。そして、できれば身近な環境（学校構内も含め）で、生き物観察をしたいです。いろいろな生き物がいて、調べるととても面白いことが分かり、自然や生き物に関心のある子供を育つと思います。経験することが自然を理解する最も実が上がり、かつ彼らの身に付くからです。具体的支援の方法は、                  1 「今、自然を大切にすることがなぜ重要か？」を主題に講演をします（時間は要望に応じて変更できます。20分から60分の範囲）。子供達が、聴いて感じた疑問や感想を語るか、書いて頂きます。                  2 生きもの観察（場所は構内から川も含め身近な自然の場所。希望地があれば対応、学内ビオトープでも結構です）。観察は種類の大きな分類、その生き物が、どんな面白い点があるか、その生き物の存在はどんな意味を持つか等、考えます。疑問や考えることで、生き物に興味を持ってなかった子供達の関心を引き出せると考えます。</p> 
対象学年（年齢）	小学校中高学年(生き物観察会は低学年も可)
時間数	1 45分                                      2 45分2コマ (90分)
講師人数	1 子ども100人に対して講師1人必要 2 子ども10人に対して講師1人必要
費用	【講師謝礼】講師1名につき5,000円（授業1回毎）
学校側で必要な準備	1 不要 2 個人の名札、バット、ピンセット、筆記用具、記録用ノート、図鑑、（サンプル採取場合70%エチルアルコール）
講師からの持込資材等	顕微鏡、実体顕微鏡、展翅板、展翅テープ、マッチバリ、記録用ノート、図鑑
講師について	「ホテルも棲める良い自然」をスローガンに生物多様性の高い自然環境を保全し、残していくことの重要性を、松本を中心に県内外でもアピールし活動しています。「何故、今、生物多様性保全が必要なのか」から、「生物多様性保全のために今、私達が何ができるのか」までを考えます。【キーワード】生物多様性、生き物調査、環境指標、「ホテルも棲める良い自然、」自然を見る目、生き物は面白い
開催実績	小学生を主に対象に「生き物観察会」を市内公民館活動等で20回以上実施経験。その他大人と子供を含む講演会等は年20回程度実施。 平成29年度 田川小学校 水の生物の観察会
その他	
講師連絡先	<p>【団体名】松本ホテル学（まなぶ）会                  【担当者名】藤山 静雄 又は 横山 【代表者名】藤山 静雄                  【TEL】0263-46-3275                  【FAX】0263-46-3275                  【Eメール】sfujiya@shinshu-u.ac.jp                  【HP】<a href="https://www.facebook.com/matsumoto.hotaru/">https://www.facebook.com/matsumoto.hotaru/</a>                  【住所】〒390-0311 松本市水汲 25-6</p>
申込み方法	申込書を上記Eメールに送付してください。その後、学校指導課担当者にも送付してください。その後、学校から講師へ連絡をとり、事前打合せの日程を決めて、事業を開始してください。

【分類：自然体験、環境知識、生活力】

講座名称	子どもの森の健康診断 (講座 No. 21)
支援事業内容	<p><b>1 事前学習支援</b> 年間授業内での組みたてアドバイザー派遣、座学・丸太切りなど</p> <p><b>2 フィールドで行う体験学習支援</b> 体験学習：学校近くの人工林で、調査と間伐体験をします。</p> <p><b>3 フォローアップ支援</b> 体験後の報告会に向けて、必要な支援があればご相談ください。</p> 
対象学年（年齢）	小学校5年以上（4年生ご希望の時は、事前にご相談ください。）
時間数	<p>実施内容は、「座学/紙芝居」「調査」「空開け(間伐)体験」となり、柔軟に対応できるプログラムとテキストを用意しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 最短コース（3時間）短縮版テキスト 【紙芝居+調査+間伐体験】</li> <li>● 標準コース（3時間*2回）フル版テキスト 1回目【紙芝居+調査】2回目【間伐体験】 ※昼を挟んで&lt;午前中&gt;と&lt;午後&gt;、もしくは、&lt;春&gt;と&lt;秋&gt;に実施</li> <li>● 理想コース（座学2時間+標準コース）</li> <li>● カスタムコース（3時間以上、ご要望で）</li> </ul>
講師人数	子ども5,6人で1班。各班に対して講師2人必要
費用	【講師謝礼】講師1名につき5,000円（授業1回毎） 【その他】なし
学校側で必要な準備	フィールド確保と所有者への了解。不明の場合はご相談ください。
講師からの持込資材等	調査グズ一式、調査手帳一式（手帳、下げ紐、下敷き、ボールペンなどを含む）、伐倒道具、授業内容により丸太や枝葉実物、
講師について	登録講師は、豊田市初級間伐講座、「森の健康診断」のリーダー研修を受講し、全国の様々な団体および学校への派遣実績を持ちます。
開催実績	豊田市矢作川流域での森の健康診断10年以上、全国への講師派遣実績は100件を超え、その内、学校授業支援が近年増え年間10件ほど。 平成29年度 奈川小中学校
その他	
講師連絡先	<p>【団体名】森の健康診断出前隊          【担当者名】筏井美枝子 【代表者名】丹羽健司          【TEL】050-5317-8210（留守電に伝言を入れてください。折り返します。）          【Eメール】school@mori-gis.org          【HP】http://mori-gis.org/kids http://mori-gis.org/school          【住所】〒444-2816 豊田市杉本町三斗成1-3 旧杉本保育園</p>
申込み方法	申込書を上記Eメールに送付してください。その後、学校指導課担当者にも送付してください。その後、学校から講師へ連絡をとり、事前打合せの日程を決めて、事業を開始してください。



【分類：環境知識】

講座名称	まつもとの環境について学ぼう 「松本市環境基本計画関連講座」 <span style="float: right;">(講座 No. 22)</span>
支援事業内容	<p>松本市民である私たちが取り組むべき5つの柱について、パワーポイント等を使って学習し、自分たちになにができるのか、一緒に考えます。                  学習内容は、以下の1～5の中から組み合わせが可能です。(要相談)                  &lt;5つの柱プログラム&gt;</p> <p><b>1 地球にやさしく</b>                  地球温暖化を防ぐために一人ひとりが節電や省エネに取り組むことの重要性を学びます。</p> <p><b>2 資源を大切に</b>                  「もったいない」をキーワードとした3Rの取組みやごみの現状、わたしたちにできることなどについて学びます。</p> <p><b>3 安心・安全な暮らし</b>                  松本市の騒音や水などの環境の状況や、私たちの行動がどのように環境に影響をあたえるのかを、実際の騒音計等を使って学びます。</p> <p><b>4 自然のめぐみ</b>                  生きものあふれる松本プラン「生物多様性」について、わかりやすく学びます。</p> <p><b>5 心地よいまち</b>                  身近にある心地よいかおりや音、花いっぱい運動を通じて、地域で自慢できる環境について学びます。</p> 
対象学年(年齢)	4年生以上
時間数	1時限
講師人数	講師1～2名
費用	【講師謝礼】無料 【その他】
学校側で必要な準備	電源の確保
講師からの持込資材等	プロジェクター、スクリーン等
講師について	
開催実績	
その他	
講師連絡先	【団体名】松本市環境政策課 【担当者名】降幡 【TEL】34-3268 (平日9時～17時なら連絡可能) 【FAX】34-0400 【Eメール】s-kankyo@city.matsumoto.lg.jp 【住所】〒390-8620 松本市丸の内3-7
申込み方法	申込書を上記 <b>FAX</b> に送付してください。その後、学校指導課担当者にも送付してください。その後、学校から講師へ連絡を取り、事前打合せの日程を決めて、事業を開始してください。

環境学習の活動内容や支援する団体等が検索できるWEBサイト

中信地区環境教育ネットワークによる

# 信州の環境学習サポートサイト

どんな環境学習  
プログラムがあるかな？  
どんな活動を  
していきたいかな？  
ぜひ、ご活用ください！



## 信州の環境学習サポートの目的

- 環境学習の実践例を示し、環境学習の面白さや効果を伝えます。
- 中信地域の学校や地域で環境学習が実施できるよう支援団体や窓口を紹介します。
- 良質な環境学習の体験プログラムを紹介します。
- 環境学習が未来の希望となるよう、関係者が協力して環境体験学習の内容の向上と学習提供システムの整備に努めます。

作成/運営

中信地区環境教育ネットワーク

URL <http://www.econoschool.org/>

信州の環境学習

検索



【附録】松本市環境政策課からのお知らせ

1 食品ロスをテーマとした環境教育事業（小学生、中学生向け）

本市では、小さいころから「もったいない」という意識を持ってもらうため、食品ロスをテーマとした出前講座を平成28年度から市内全小学校の3年生を対象に行っています。

まだ環境教育を受けていない年代でも、受けた後の年代でも、パワーポイントや歌、すごろく、DVD等を用いて、職員がわかりやすく説明します。

食品ロスをテーマとした環境教育にご興味があれば環境政策課までご相談ください。



食品ロス削減すごろくの活用

食べものが収穫されるまで、購入されるまで、料理するまで、食べるまで、それぞれどんな食品ロスがあるのか、減らしていくためにはどうすればいいかを楽しく学べるすごろくです。必要部数を印刷してお渡することもできます。

※ 対象：小学校3年生以上



2 温暖化対策ワークシート（5・6年生向け）の実施について

子どもたちがワークシートを通して地球温暖化問題について知り、家庭や学校で節電・節水等を実践することにより、温暖化対策・省エネルギーに対する意識の醸成を図るものです。

＜ワークシート（A3両面印刷・二つ折り）の構成＞

① 知る・考える

現代のライフスタイル、化石燃料、省エネ等について

② 行動する

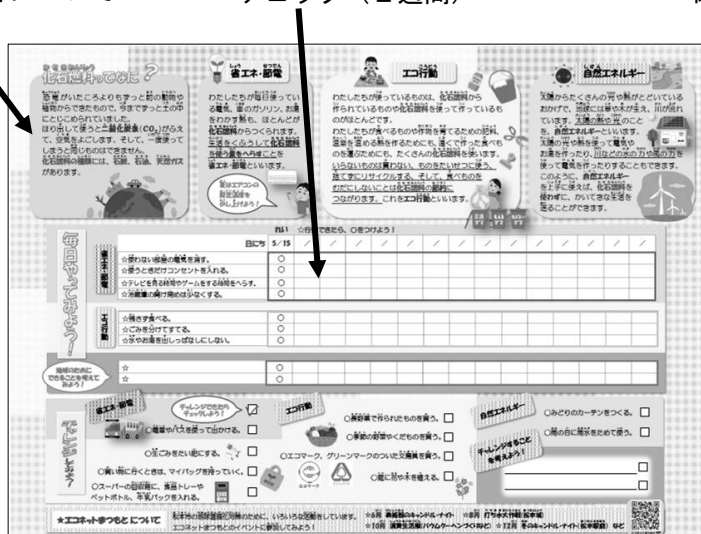
省エネ・エコ行動の実践、チェック（2週間）

③ 振り返る

最後に感想等を記入し、保護者からコメントをもらう。



表紙



裏表紙

☆実施希望の場合は、環境政策課までご連絡ください。必要部数をカラー印刷してお届けします。



年会費  
登録料無料



### 3 全国ネットワーク「こどもエコクラブ」への参加について

#### ○こどもエコクラブとは？

環境省事業として平成7年度に発足した「こどもエコクラブ」は、公益財団法人 日本環境協会が引き継ぎ、実施しているもので、地域における子どもたちの自主的な環境学習や実践活動を支援するものです。

#### ○こどもエコクラブって何をするの？（登録から活動までの流れ）

一緒に活動する仲間（3歳～18歳）と、活動を支える大人（20歳以上）を集めてクラブをつくり、登録します。

子どもたちの興味や関心に基づき、自然観察・調査やリサイクル活動、地球温暖化を防ぐ活動など、家庭・学校・地域の中で身近にできる「地球にやさしい活動」に自由に取組みましょう。

活動を報告すると、アーススタンプと専門の先生からのアドバイスがもらえます。アーススタンプを5個集めるとアースレンジャー認定証を授与！また継続して活動すると3年で銀バッジ、6年で金バッジがもらえます。

#### ○登録すると、活動に役立つツールがもらえます！

希望に応じてメンバーズバッジやエコカード（幼児対象）がもらえます。ウェブサイトからメンバー手帳をダウンロードして使用することもできます。

また、わかりやすい環境情報や取り組みやすい環境活動・学習プログラム、他のクラブの活動の様子などを掲載したメールマガジンが無料で提供されるなどの特典があります。



#### ○活動をはじめるには・・・

こどもエコクラブウェブサイトから直接登録ができます。または環境政策課担当までご連絡ください。

※ こどもエコクラブ

<http://www.j-ecoclub.jp>

※ 平成29年度 登録クラブ数1,852、メンバー数101,657人



平成30年度  
松本市小中学校  
環境教育支援事業報告書

発行 松本市  
〒390-8620  
松本市丸の内3番7号  
電話 0263-34-3268  
E-mail [kankyo\\_kyoiku@city.matsumoto.lg.jp](mailto:kankyo_kyoiku@city.matsumoto.lg.jp)

編集 松本市環境部 環境政策課  
協力 中信地区環境教育ネットワーク

印刷 庁内印刷

